

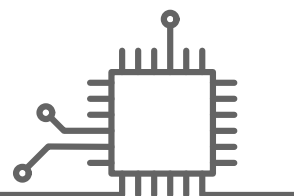


オリジナル取扱説明書

ISOBUS ソフトウェア

Precea（プレセア）

この取扱説明書は、次のソフトウェアバージョン以降で有効です： NW110-H



SmartLearning



目次

1	本取扱説明書について	1	6.2.1	分離工程の設定	17
1.1	取扱説明書の意味	1	6.2.2	肥料計量装置の設定	17
1.2	使用している記号	1	6.2.3	微粒剤計量装置の設定	18
1.2.1	警告および信号文字	1	6.2.4	事前計量の設定	18
1.2.2	その他の注記	2	6.2.5	事前停止の設定	19
1.2.3	操作指示	2	6.3	ファン回転数監視のセットアップ	19
1.2.4	列挙	3	6.4	作業位置センサーの設定	20
1.2.5	図中の位置番号	4	6.4.1	デジタル作業位置センサーの設定	20
1.3	関連文書	4	6.4.2	アナログ作業位置センサーの設定	21
1.4	ご意見をお待ちしております	4	6.5	速度信号のソースをセットアップ	22
			6.5.1	シミュレートされた速度の設定	22
2	機能概要	5	6.5.2	機械の速度センサーをセットアップ	23
			6.5.3	ISOBUS の速度信号を使用	24
3	メインメニューの概要	6	6.6	コールタ圧監視の設定	24
			6.7	種子検出の設定	25
4	作業メニュー	7	6.8	ジオメトリを決定	25
4.1	作業メニューの概要	7	6.9	秤の設定	26
4.2	マルチファンクション表示	8	6.9.1	秤のゼロ点調整	26
4.3	コールタの棒グラフ	8	6.9.2	秤の調整	27
4.4	機械データ	9	6.10	ロック可能な列を決定する	28
4.5	ステータスバー	9	6.11	Bluetooth 機器のペアリング	29
4.6	ボタンバーの機能	9	6.12	GPS 記録を有効にする	30
			6.13	スマートコントロールを有効にする	30
5	基本的な操作	11	6.14	水たまり機能の有効化	31
5.1	圃場メニューと設定の切り替え	11			
5.2	前のメニューに切り替える	11	7	プロファイルの管理	32
5.3	メニューをブラウズ	11	7.1	新しいプロファイルの作成	32
5.4	ツインターミナル	12	7.2	プロファイルの選択	34
5.5	マルチファンクションハンドル AmaPilot+	12	7.3	プロファイルの設定	34
			7.3.1	マルチファンクション表示の変更	34
6	機械の設定	14	7.3.2	スタートアップランプの設定	35
6.1	トラムラインスイッチの設定	14	7.3.3	ISOBUS の設定	36
6.2	測定装置の設定	17	7.3.4	自由なキー割り当ての変更	38

7.3.5	マルチファンクション表示の変更	39	10.17	GPS 記録の使用	69
			10.18	作業灯の使用	69
			10.19	列のロック	70
			10.20	水たまり機能の使用	70
			10.21	マルチファンクションハンドル AmaPilot+ の使用	71
8	製品の管理	41	11	肥料タンクを空にする	73
8.1	新しい製品の作成	41	12	作業の記録	74
8.2	製品の選択	43	12.1	ドキュメントの呼び出し	74
8.3	種子のセットアップ	45	12.2	デйкаウンタをゼロにする	74
8.4	肥料のセットアップ	48	12.3	ドキュメントの管理	75
8.5	微粒剤のセットアップ	49	13	ソフトウェア情報の呼び出し	77
8.6	セクションコントロールのセット アップ	50	14	カウンタの値の呼び出し	78
9	肥料または微粒剤の散布量をキャ リブレーション	52	15	診断データの呼び出し	79
9.1	ISOBUS 端末またはキャリブレー ションボタンでキャリブレーション	52	16	機械の修理	81
9.2	ツインターミナルでキャリブレー ション	55	16.1	エラー通知の処理	81
10	作業	59	16.2	エラーの除去	82
10.1	散布の開始	59	17	付録	98
10.2	種子の散布量を変更	60	17.1	関連文書	98
10.3	肥料の散布量を変更	60	18	索引	99
10.4	微粒剤の散布量を変更	61	18.1	用語集	99
10.5	ブームセクションの手動切り替え	61	18.2	インデックス	101
10.6	充填する	63			
10.6.1	補充された肥料または微粒剤の量 を入力	63			
10.6.2	秤タンクの充填	63			
10.7	コーлта圧の調整	64			
10.8	トラムラインカウンタの使用	64			
10.9	シフトトラムラインの使用	65			
10.10	トラムラインマーキングの使用	65			
10.11	トラムラインスイッチのミラーリ ング	66			
10.12	スクレーパーを手動で設定	66			
10.12.1	すべてのスクレーパーを手動で設定	66			
10.12.2	個々のスクレーパーを手動で設定	66			
10.13	肥料と微粒剤の事前計量	67			
10.14	コンフォート油圧系統の使用	67			
10.15	トラックマーカの制御	68			
10.16	分離ディスクの充填	68			

本取扱説明書について

1

CMS-T-00000539-E.1

1.1 取扱説明書の意味

CMS-T-006245-A.1

取扱説明書は重要な文書であり、機械の一部です。これは使用者に向けたもので、安全関連の情報が含まれています。取扱説明書に記載されている方法のみが安全です。取扱説明書を遵守しないと、重傷や死亡に至る可能性があります。

1. 機械を初めて使用する前に、安全に関する章を全て読んで、内容を遵守してください。
2. さらに、作業前に取扱説明書の対応する箇所を読み、内容を遵守してください。
3. 取扱説明書は保管し、閲覧できる状態に保ってください。
4. 取扱説明書は次のユーザーに渡してください。

1.2 使用している記号

CMS-T-005676-C.1

1.2.1 警告および信号文字

CMS-T-00002415-A.1

警告は、三角形の安全記号と信号文字が付いた、垂直バーで示されています。信号文字の "危険" と "警告"、"注意" は、差し迫った危険の度合いを示し、次の意味があります：



危険

- ▶ 身体の一部を失うような重傷や死亡をもたらす可能性がある、大きな差し迫った危険を示します。



警告

- ▶ 重傷や死亡をもたらす可能性がある、中程度の危険を示します。



注意

- ▶ 軽度から中程度の負傷をもたらす可能性がある、低い危険を示します。

1.2.2 その他の注記

CMS-T-00002416-A.1



重要

- ▶ 機械損傷のリスクを示します。



環境に関する注記

- ▶ 環境汚染のリスクを示します。



注記

使用上のヒントや最適な使用のための注記を示します。

1.2.3 操作指示

CMS-T-00000473-B.1

番号が付いた操作指示

CMS-T-005217-B.1

特定の順番で実行する必要がある操作は、番号付きの操作指示として記載されています。所定の操作順を守らなければなりません。

例：

1. 操作指示 1
2. 操作指示 2

1.2.3.1 操作指示と結果

CMS-T-005678-B.1

操作指示の結果は、矢印で示されます。

例：

1. 操作指示 1

➡ 操作指示 1 の結果

2. 操作指示 2

1.2.3.2 別の操作指示

CMS-T-00000110-B.1

別の操作指示の前には、“あるいは”という言葉が付きます。

例：

1. 操作指示 1

または

別の操作指示

2. 操作指示 2

操作が 1 つだけである操作指示

CMS-T-005211-C.1

操作が 1 つだけの操作指示には番号ではなく、矢印がついています。

例：

▶ 操作指示

順序なしの操作指示

CMS-T-005214-C.1

特定の順番に従う必要のない操作指示は、矢印を付けて箇条書きされています。

例：

▶ 操作指示

▶ 操作指示

▶ 操作指示

1.2.4 列挙

CMS-T-000024-A.1

順番が重要ではない列挙は、黒丸を付けて箇条書きされています。

例：

- ポイント 1
- ポイント 2

1.2.5 図中の位置番号

CMS-T-000023-B.1

文中に挿入された番号、例えば **1** は、横の図の位置番号を示します。

1.3 関連文書

CMS-T-0000616-B.1

他の該当する書類のリストが、付録にあります。

1.4 ご意見をお待ちしております

CMS-T-000059-C.1

読者の皆様、弊社では定期的に取り扱説明書をアップデートしております。よりユーザー本位の取扱説明書に改良していくため、皆様からのご意見は大変参考になります。皆様のご意見をお手紙やファックス、電子メールでお寄せください。

AMAZONEN-WERKE H. Dreyer SE & Co. KG
Technische Redaktion
Postfach 51
D-49202 Hasbergen
Fax: +49 (0) 5405 501-234
E-Mail: td@amazone.de

CMS-I-00000638

機能概要

2

CMS-T-00000818-C.1

精密シードドリル Precea（プレセア）は、ISOBUS ソフトウェアで操作します。ISOBUS ソフトウェアは、ISOBUS 操作端末で表示および操作できます。

ISOBUS ソフトウェアには、次の機能があります：

- 機械データを監視する
- 作業灯を切り替える
- 計量装置をキャリブレーションする
- 肥料タンクの重量を量る
- 肥料の補充量を入力する
- 肥料タンクを空にする
- ブームセクションを自動および手動で切り替える
- コールタ圧を調整する
- 散布量を調整する
- ترامラインを作成する
- ترامラインマーキングを作成する
- 肥料を事前計量する
- 分離ディスクを割り当てる
- 分離工程を手動および自動で修正する
- 製品を設定する
- 作業の記録

メインメニューの概要

3

CMS-T-00000788-C.1

メインメニューは、圃場メニューと設定用のメニューに分かれています。

圃場メニュー	設定
 圃場メニュー	 設定
 作業	 機械
 キャリブレーション	 プロフィール
 充填	 Info
 ドキュメント	 製品
 排出	

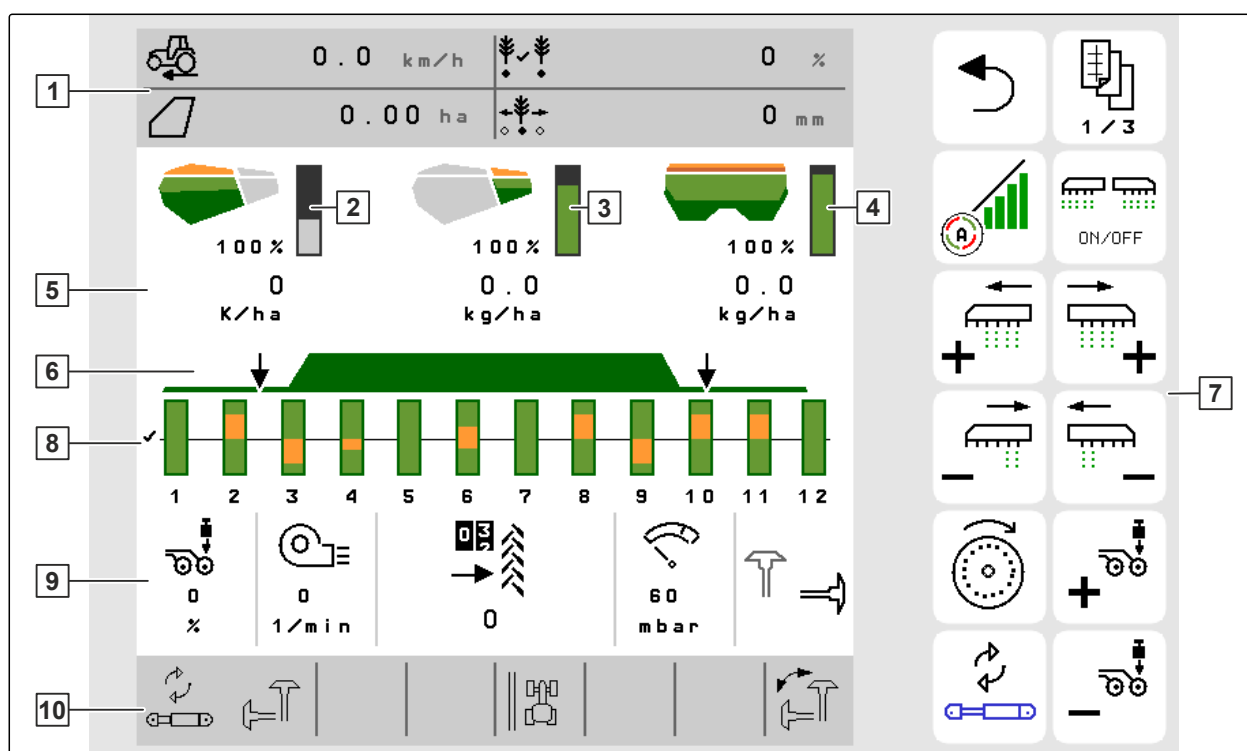
作業メニュー

4

CMS-T-00000921-E.1

4.1 作業メニューの概要

CMS-T-00000922-D.1



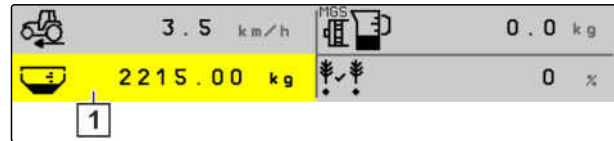
CMS-I-00000680

- | | |
|----------------|--------------------------|
| 1 マルチファンクション表示 | 6 作業位置とセクションコントロールのステータス |
| 2 種子量の表示 | 7 ボタンバー |
| 3 微粒剤の量の表示 | 8 コールタの棒グラフ |
| 4 肥料の量の表示 | 9 機械データ |
| 5 散布量の表示 | 10 ステータスバー |

4.2 マルチファンクション表示

CMS-T-00008365-A.1

作業メニューのマルチファンクション表示には、4つの異なる値を表示できます。値は調整できます。



CMS-I-00005703

注記

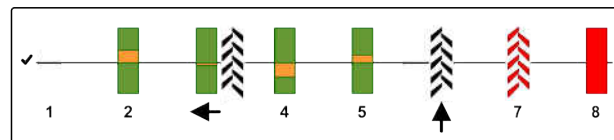
秤の表示 **1** が黄色になっている場合は、振動によって測定結果がゆがめられているか、取り付けられた機械が持ち上げられています。正確な測定を行うには、機械を下げて静止させる必要があります。

4.3 コールタの棒グラフ

CMS-T-00000932-D.1

それぞれのコールタのために、作業メニューに棒グラフが表示されます。棒グラフは、それぞれのコールタの運転状態を示します。

散布される種子が多すぎると、棒グラフは上に向かってオレンジ色になります。散布される種子が少なすぎると、棒グラフは下に向かってオレンジ色になります。オレンジ色の範囲が大きくなると、逸脱が大きくなります。棒グラフの表示範囲は、設定で決定されます。



CMS-I-00000727

列 1 のように棒グラフが非表示の場合、コールタはセクションコントロールによって無効にされています。列 8 のように棒グラフが赤く表示されている場合、コールタは手動で無効にされています。

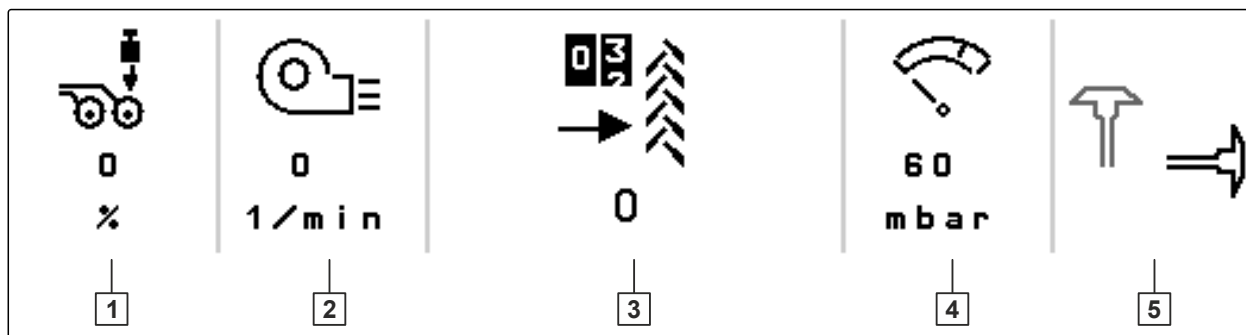
列 3 のように棒グラフに黒いトラクタートラックが追加されていると、シフトトラムラインが作成されます。棒グラフの下に矢印は、コールタのシフト方向を示しています。

列 6 のように棒グラフが黒いトラクタートラックに置き換えられている場合、トラムラインマーキングが作成されます。トラクタートラックの下に矢印は、コールタが持ち上げられており、トラムラインマーキングが作成されることを示しています。

列 7 のように棒グラフが赤いトラクタートラックに置き換えられている場合、その列はロックされています。

4.4 機械データ

CMS-T-00000926-B.1

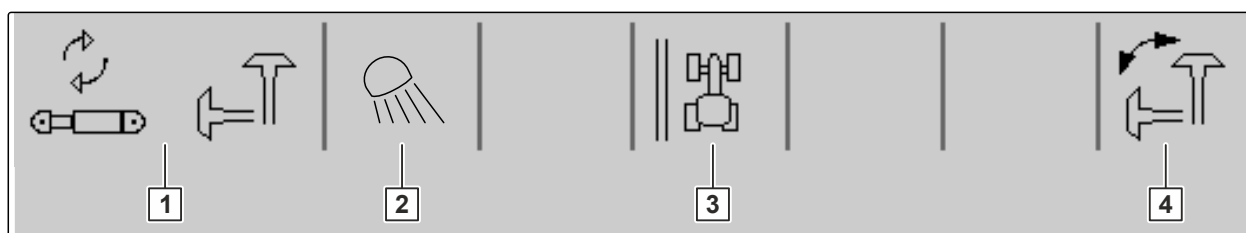


CMS-I-00000702

- | | |
|--------------|--------------|
| 1 コールド圧 | 4 ファン空気圧 |
| 2 ファン回転数 | 5 トラックマーカの位置 |
| 3 トラムラインカウンタ | |

4.5 ステータスバー

CMS-T-00000927-C.1



CMS-I-00000703

- | | |
|--------------------------|------------------|
| 1 選択されたコンフォート油圧システムの油圧機能 | 3 基準線としての圍場周縁の表示 |
| 2 作業灯が ON | 4 選択されたトラックマーカ機能 |

4.6 ボタンバーの機能

CMS-T-00000928-E.1

戻る	スクロール	セクションコントロールを ON および OFF にする	すべてのブームセクションと計量を ON および OFF にする	分離ディスクを充填する

ブームセクションを右方向に ON にする	ブームセクションを左方向に ON にする	ブームセクションを左方向に OFF にする	ブームセクションを右方向に OFF にする	すべてのブームセクションを ON にする	GPS 記録を開始する

4 | 作業メニュー ボタンバーの機能

					
トラムラインカウンタを1増やす	トラムラインカウンタを1減らす	トラムラインカウンタを一時停止および開始する	トラムラインカウンタをゼロにする	作業灯を ON および OFF にする	事前選択された油圧機能を切り替える

					
コールタ圧を高める	コールタ圧を減らす	肥料散布量を増加する	肥料散布量を削減する	肥料散布量を規定値にする	肥料を事前計量する

					
種子散布量を増加する	種子散布量を削減する	種子散布量を規定値にする	微粒剤の散布量を増加する	微粒剤の散布量を削減する	微粒剤の散布量を規定値にする

				
水たまり	トラックマーカ機能切り替える	トラックマーカ機能作動する	トラムライン計算用の圃場周縁を切り替える	列をロックする

基本的な操作

5

CMS-T-00000803-E.1

5.1 圃場メニューと設定の切り替え

CMS-T-00000804-D.1

- ▶ 圃場メニューに切り替えるには、
 を選択します。

または

- 設定に切り替えるには、
 を選択します。



CMS-I-00000611

5.2 前のメニューに切り替える

CMS-T-00000805-B.1

- ▶ ボタンバーで  を選択します。

5.3 メニューをブラウズ

CMS-T-00000806-A.1

- ▶ 設定のメニューでスクロールするには、
 を選択します。
- ▶ 作業メニューのボタンバーをスクロールするには、
 を選択します。

5.4 ツインターミナル

CMS-T-00005780-B.1

ツインターミナルは、機械に直接取り付けられて、外部操作端末として使用されます。ツインターミナルは4つのキー **2** で操作します。機能欄 **1** には、キーの現在の機能が表示されます。



が表示される場合は、不具合が生じています。ISOBUS 操作端末にエラーコードまたはテキストメッセージが表示されます。



CMS-I-00004042

1. ツインターミナルで操作するには、ISOBUS 操作端末の対応するメニューで、ツインターミナルを選択します。

➡ 外部操作が有効になります。

2. ツインターミナルでの操作を終了するには、 を押します。

➡ ISOBUS 操作端末が再び有効になります。



CMS-I-00004092

5.5 マルチファンクションハンドル AmaPilot+

CMS-T-00005800-A.1

AmaPilot+ を介して、機械の機能を実行できます。AmaPilot+ は、キーを自由に割り当てられる、AUX-N 操作エレメントです。各 Amazone ISOBUS 機械のために、予め標準のキー割り当てになっています。機能は3つの階層に配置されており、親指で押して選択できます。機械の起動時に、標準階層がロードされます。ライトリング **1** が緑色に点灯します。



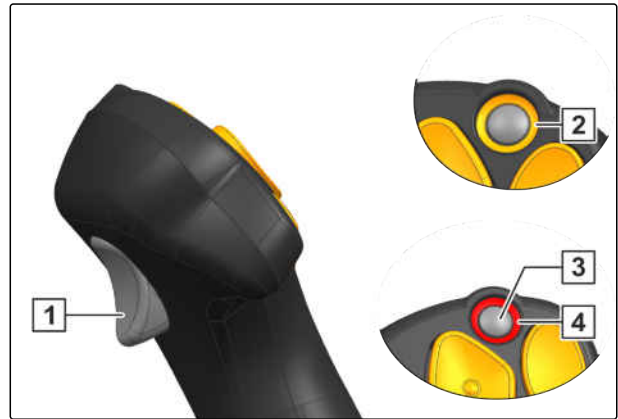
CMS-I-00004071

1. キー **1** を押し続けます。

➡ 階層 2 が有効になり、ライトリング **2** がオレンジ色に点灯します。

2. キー **3** を押します。

➡ 階層 3 が有効になり、ライトリング **4** が赤色に点灯します。



CMS-I-00004072

機械の設定

6

CMS-T-00000767-E.1

6.1 トラムラインスイッチの設定

CMS-T-00000920-D.1

1. "設定" メニューで "機械" > "トラムライン" を選択します。

2. トラムラインで "ON" を選択します

または

トラムラインにトラムラインマーキングを付けるには、
トラムラインで "トラムラインマーキング" を選択します

または

トラムラインマーキングが付いたトラムラインを作成するには、
トラムラインで "シフトトラムライン" を選択します。

3. "トラムラインリズムの学習" を選択します。
4. トラムラインリズムの学習で "作業幅" および "農業用機械のトラック幅" を入力します。
5. > で次へ
6. トラムラインリズムの学習で "農業用機械のタイヤ幅" および "植物までの距離" を入力します。
7. > で次へ
8. トラムラインリズムの学習で "圃場周縁までの農業用機械のオーバーラップまたはアンダーラップ距離" を選択します。



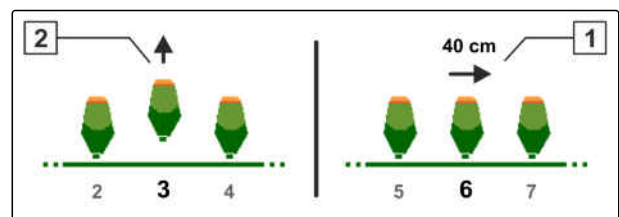
CMS-I-00000588

9. 左側または右側の圃場周縁での作業開始を指定するには、
"トラムラインリズムの学習" で圃場周縁を選択します。
10. 機械幅の半分または全体での作業開始を指定するには、
"トラムラインリズムの学習" で機械幅を選択します。
11. > で次へ

➡ "設定の成功!" は、トラムラインリズムが算出されたことを示します。

農業用機械を交換する際には、シフトトラムラインまたはトラムラインマーキングを使用するために、機械を調整する必要があります。

12. シフトトラムラインがトラムラインリズムと一致するように、
表示されたコールタ **1** をシフトシリンダーに接続します



CMS-I-00004039

または

トラムラインマーキングがトラムラインリズムと一致するように、
表示されたコールタ **2** をリフトシリンダーに接続します。

13. 手動トラムラインスイッチを有効にするには、
"手動トラムライン" にチェック記号を付けます。
14. トラムラインリズムとトラムライン列を決定するには、
"手動トラムラインの設定" を選択します。
15. > で次へ
16. "繰り返しまでの通路" を入力します。
17. "通路の選択" で、トラムラインが有効にされる通路を入力します。
18. "列の選択" で、トラムラインの間は無効にされるか持ち上げられるかシフトされる列を入力します。

機械の設定に応じて、トラムラインカウンタの信号は様々なソースから来ます：

- 作業位置：シードドリルが作業位置にセットされると、トラムラインカウンタがトラムラインをカウントします。
- トラックマーカ：トラックマーカが使用されると、トラムラインカウンタがトラムラインをカウントします。
- GPS：機械が次のトラックに移動すると、トラムラインカウンタがトラムラインをカウントします。

19. "切り替えのソース" で、トラムラインカウンタのソースを選択します。

20.  で次のページを呼び出します。

シードドリルが短時間持ち上げられただけで、トラムラインカウンタがトラムラインをカウントしないように、ソースの信号継続時間を調整できます。

21. "切り替え時間" で、ソースの信号継続時間を入力します。

22. **トラムラインの隣の列で、種子の規定散布量を増やすには、**
"隣の列の種子量増加" で希望するパーセント値を入力します。

6.2 測定装置の設定

CMS-T-00000784-E.1

6.2.1 分離工程の設定

CMS-T-00000791-D.1

1. "設定" メニューで "機械" > "計量装置" > "分離工程" を選択します。
2. 作業メニューのボタンで、散布量を何パーセント変更するか決定するには、"量変更幅" で希望するパーセント値を入力します。



分離工程

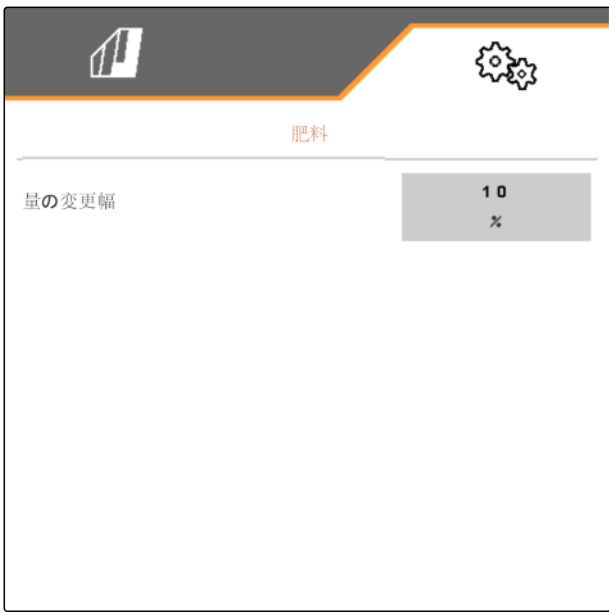
量の変更幅 10 %

CMS-I-00000592

6.2.2 肥料計量装置の設定

CMS-T-00000785-C.1

1. "設定" メニューで、"機械" > "計量装置" > "肥料計量装置" を選択します。
2. 肥料の計量をステップごとに何パーセント増やすか定めるには、"量変更幅" に希望する値を入力します。
3. まだ肥料があるか監視する場合は、"ローレベル監視" を有効にします。



肥料

量の変更幅 10 %

CMS-I-00000608

6.2.3 微粒剤計量装置の設定

CMS-T-00000934-D.1

1. "設定" メニューで "機械" > "計量装置" > "微粒剤" を選択します。
2. 微粒剤の計量をステップごとに何パーセント増やすか定めるには、"量変更幅" に希望する値を入力します。



CMS-I-00000730

6.2.4 事前計量の設定

CMS-T-00000935-D.1

散布に遅延が生じないように、肥料と微粒剤を事前計量できます。事前計量の継続時間を指定する必要があります。

- ▶ 肥料と微粒剤の事前計量の継続時間を入力します。



注記

事前計量の継続時間は、セクションコントロールに影響しません。



CMS-I-00000595

6.2.5 事前停止の設定

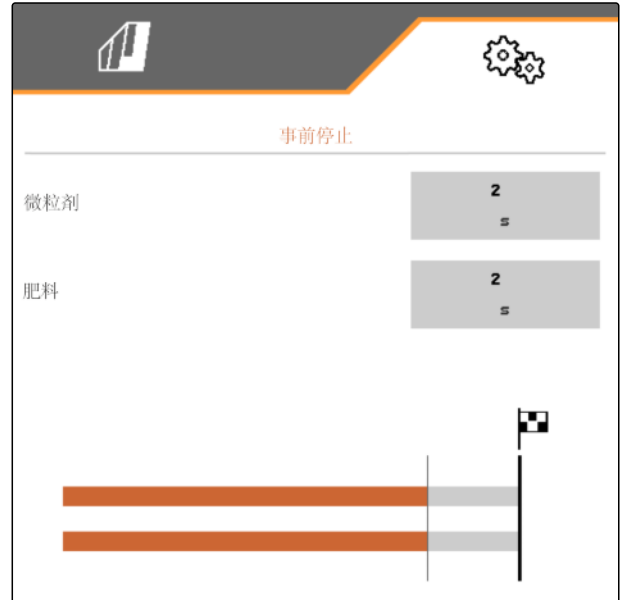
CMS-T-00003911-C.1

散布が延長されないように、肥料と微粒剤を事前停止できます。事前停止の継続時間を指定する必要があります。

- ▶ 肥料と微粒剤の事前停止の継続時間を入力します。

注記

事前停止の継続時間は、セクションコントロールに影響しません。



CMS-I-00002887

6.3 ファン回転数監視のセットアップ

CMS-T-00000760-E.1

分離ファンは、粒分離工程内で過圧を発生させます。分離ファンは、PTO または油圧で駆動されます。分離ファンを監視するために、規定回転数が指定されます。さらに、分離ファン内で圧力を監視できます。フロントタンクを備える機械では、さらに油圧駆動の搬送ファンでも、ファン回転数を監視できます。

6 | 機械の設定

作業位置センサーの設定

1. "設定" メニューで "機械" "ファン" > "分離工程"
または "フロントタンク" を選択します。
2. "規定回転数" で、希望するファン規定回転数を入力します。

または

"規定回転数の学習" を選択して、ディスプレイの指示に従います。
3. どれだけ規定回転数から逸脱したらアラームが発せられるか定めるために、
"アラーム限界値" で、逸脱をパーセントで指定します。
4. 分離ファン内の圧力を監視する場合は、
"ファン圧力監視" を有効にします。



CMS-I-00000603

6.4 作業位置センサーの設定

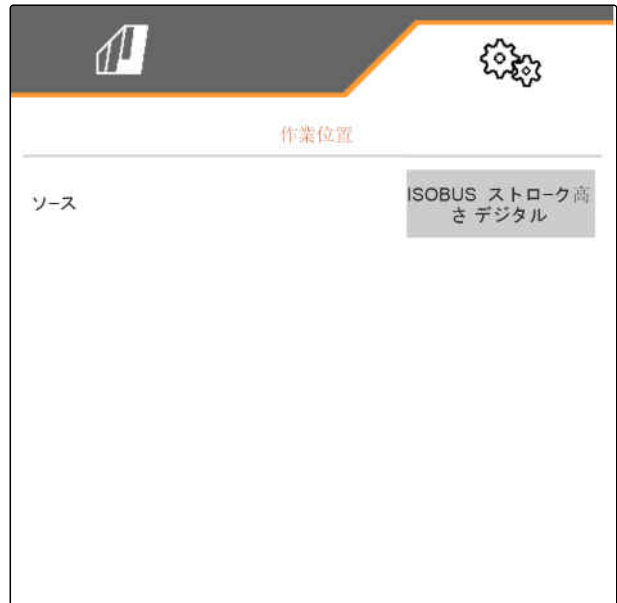
CMS-T-00003928-C.1

6.4.1 デジタル作業位置センサーの設定

CMS-T-00000761-D.1

作業位置センサーで、機械が作業位置にあるか確認します。機械が作業位置にある場合、機械制御は自動的に開始できます。機械が作業位置ではなくなると、機械制御は自動的に停止します。

1. "設定" メニューで "機械" > "作業位置" を選択します。
2. "ソース" で "リフト高さ ISOBUS デジタル" を選択します。



CMS-I-00002902

6.4.2 アナログ作業位置センサーの設定

CMS-T-00003929-C.1

作業位置センサーで、機械が作業位置にあるか確認します。機械が作業位置にある場合、計量は自動的に開始できます。機械が作業位置でなくなると、計量は自動的に停止します。機械がいつ作業位置にあるか定めるために、位置が全位置経路のパーセント値として示されます。位置は学習できます。

作業位置センサーの全位置経路を検出するには、限界値を学習する必要があります。

次のソースを作業位置のために利用できます：

- 後部取付機械のセンサー
- フロント取付タンクのセンサー
- ISOBUS のセンサー信号

6 | 機械の設定

速度信号のソースをセットアップ

1. "設定" メニューで "機械" > "作業位置" を選択します。
2. 種子と肥料に同じ作業位置を使用する場合は、
"同期作業位置" を有効にします。
3. "限界値の学習" で、> によって次へ進み、ディスプレイの指示に従います。
4. "切り替え点" および "肥料切り替え点" で、
> によって次へ進み、ディスプレイの指示に従います。



CMS-I-00004094

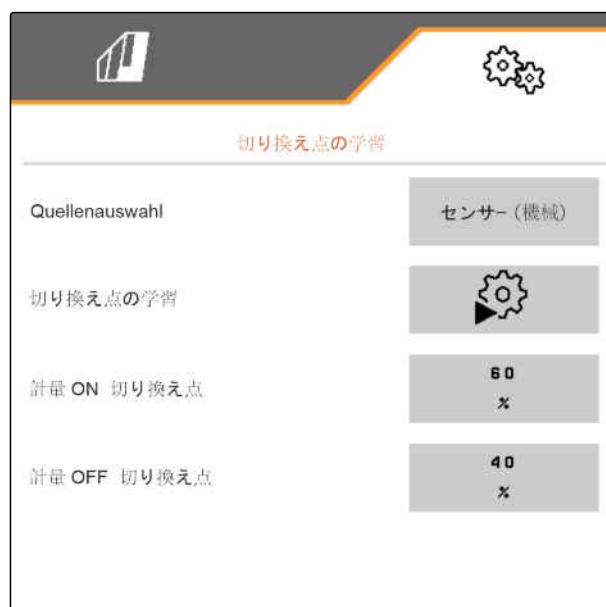
5. "設定" メニューで "機械" "作業位置" > "ソースのキャリブレーション" を選択します。
6. "ソース" で、希望するセンサーを選択します。

同期作業位置が有効になっている場合は、1 つの切り替え点のみを定義する必要があります。

7. 切り替え点のパーセント値が分からない場合は、
"切り替え点の学習" でディスプレイの指示に従い、肥料と種子の切り替え点を定義します。

または

切り替え点のパーセント値が分かっている場合は、
"切り替え点 計量 ON" および "切り替え点 計量 OFF" で、切り替え点のパーセント値を入力します。



CMS-I-00000678

6.5 速度信号のソースをセットアップ

CMS-T-00000841-D.1

6.5.1 シミュレートされた速度の設定

CMS-T-00000762-D.1

機械を制御するには、速度信号が必要です。速度信号を使用できない場合は、シミュレートされた速度を利用できます。

i 注記

作業中は、シミュレートされた速度を維持しなければなりません。速度信号が検出されると、シミュレートされた速度は無効になります。

1. "設定" メニューで "機械" > "速度" を選択します。
2. "ソース" で "シミュレート" を選択します。
3. "シミュレートされた速度" で、希望する速度を入力します。



CMS-I-00000623

6.5.2 機械の速度センサーをセットアップ

CMS-T-00000842-D.1

機械を制御するには、速度信号が必要です。そのために機械の速度センサーを利用できます。

1. "設定" メニューで "機械" > "速度" を選択します。
2. "ソース" で "センサー (機械)" を選択します。
3. "センサーインパルス" で、100 m あたりのインパルスを入力します。

または

"インパルスの学習" を選択して、ディスプレイの指示に従います。



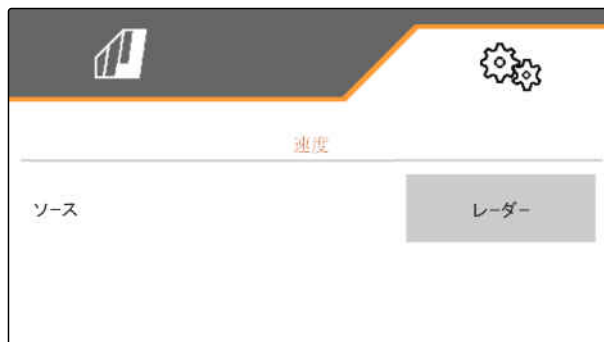
CMS-I-00000622

6.5.3 ISOBUS の速度信号を使用

CMS-T-00000843-E.1

機械を制御するには、速度信号が必要です。そのために、センサーから ISOBUS 経由で送信される速度信号を使用できます。

1. "設定" メニューで "機械" > "速度" を選択します。
 2. "ソース" で "ホイール" か "レーダー" か "衛星" を選択します。
 3. 使用されている速度信号ソースの精度を点検します。
- ➡ 速度信号のソースが不正確だと、制御に誤りが生じます。



CMS-I-00002865

6.6 コールタ圧監視の設定

CMS-T-00005756-B.1

1. "設定" メニューで "機械" > "コールタ圧" を選択します。
2. コールタ圧を監視するには、
"地面が柔らかすぎる場合のメッセージ" を有効にします。

コールタ圧を監視するための信号は、2 つの異なるソースから来る可能性があります：

- コールタ圧制御：センサーが、油圧コールタ圧システムの圧力を検出します。
- 垂直力制御：少なくとも 2 つのセンサーが、コールタの垂直力を検出します。

3. "コールタ圧の制御" で、コールタ圧信号のソースを選択します。



CMS-I-00004082

6.7 種子検出の設定

CMS-T-00000763-C.1

1. "設定" メニューで "機械" > "種子検出" を選択します。
2. 散布開始直後のアラームを回避するために、
"監視開始までの時間" で監視遅延を設定します。

作業メニューでは、種子監視が棒グラフで表示されます。棒グラフは、規定散布量の偏差を示します。棒グラフの表示範囲は、定められた規定散布量のパーセント値に相当します。

3. "棒グラフ表示範囲" でパーセント値を入力します。
4. 規定散布量からどれだけ逸脱したら、アラームが発せられるかを定めるには、
"アラーム限界値 実際散布量" で規定散布量からの逸脱をパーセントで入力します。

CMS-I-00000594

6.8 ジオメトリを決定

CMS-T-00000764-E.1

種子の配置は、ジオメトリに基づいて制御されます。

i 注記

ジオメトリ値は事前設定されています。ジオメトリ値を変更する必要がある場合は、距離を正確に測定し直さなければなりません。

1. "設定" で "機械" > "ジオメトリ" を選択します。
2. "取り付けられた列" で、列数を入力します。
3. "列の間隔" で、設定した列間隔を入力します。
4. ドロップオフポイントの位置を入力するには、
> で次へ

CMS-I-00004085

5. 有効な"マルチブーム"を使用して作業する場合は、

1 で、肥料ドロップオフポイントとトラクターの接続装置の間隔を入力します。

または

有効な"マルチブーム"を使用しないで作業する場合は、

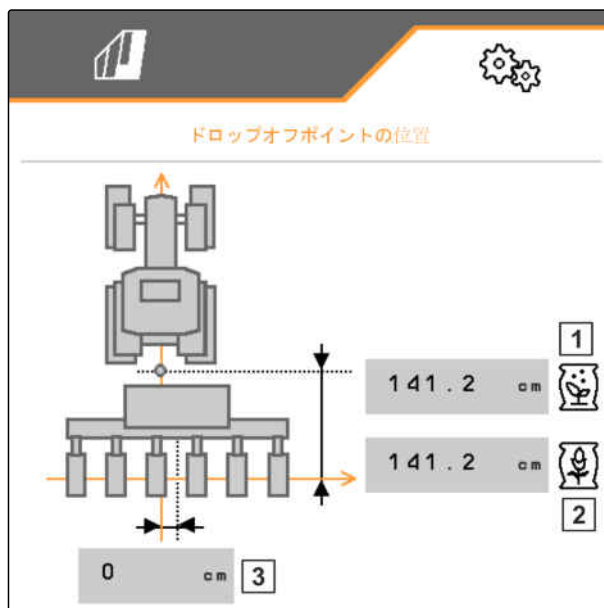
1 で、種子ドロップオフポイントとトラクターの接続装置の間隔を入力します。

6. 2 で、種子ドロップオフポイントとトラクターの接続装置の間隔を入力します。

7. 左側へのオフセットには、3 で負の値を入力します。

または

右側へのオフセットには、3 で正の値を入力します。



6.9 秤の設定

CMS-T-00005771-B.1

6.9.1 秤のゼロ点調整

CMS-T-00005773-B.1

秤のゼロ点調整は、中身が 0 kg のタンク重量を検出するために使用されます。空のタンクの表示充填量は、0 kg でなければなりません。ゼロ点調整は、最初に使用する前と計量タンクに特別装備を取り付けた後に必要です。



必要条件

- ✓ タンクが空
- ✓ ファンが OFF
- ✓ 機械が停止している
- ✓ 機械が水平な地面に下ろされている

1. "設定" メニューで "機械" "秤" > "秤のゼロ点調整" を選択します。

2. ✓ でプロセスを開始します

または



でプロセスを拒否します。

CMS-I-00004084

6.9.2 秤の調整

CMS-T-00005772-B.1

秤の調整は、充填されたタンクで、秤を修正するために使用されます。充填後にタンクの内容量が正しく表示されない場合に、調整が必要になります。

6 | 機械の設定

ロック可能な列を決定する

✓ 必要条件

- ✓ 秤がゼロ点調整されている
- ✓ 充填量が分かっている

1. "設定" メニューで "機械" "秤" > "秤の調整" を選択します。

2. ✓ でプロセスを開始します

または

✗ でプロセスを拒否します。

3. ディスプレイの指示に従います。

秤を調整

タンクを充填し、充填量の重量を記入します

現在のタンク 充填レベル 98 kg

実際のタンク 充填レベル 0 kg

最低タンク 充填レベル 250 kg

✗

CMS-I-00004083

6.10 ロック可能な列を決定する

CMS-T-00003894-C.1

個々のコールタのために、必要に応じて散布を停止できます。そのためには、希望するコールタを選択する必要があります。

1. "設定" メニューで "機械" > "列のロック／ロック解除" を選択します。

2. 希望する計量物にチェック記号を付けます。

3. 📄 で次のページを呼び出します。

列のロック／ロック解除

種子 ☒

肥料 ☐

✗

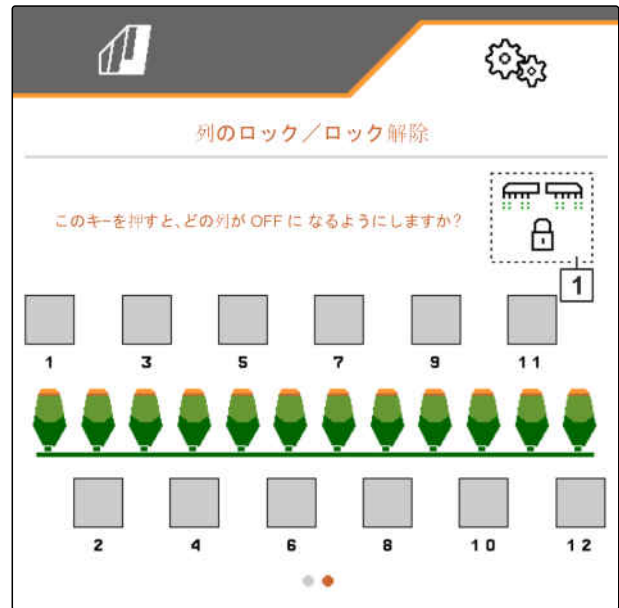
CMS-I-00005696

4. 希望する列にチェック記号を付けます

または

取り除きます。

- ➔ **1** ボタンを使用して、囲場メニューで選択した列を無効にします。



CMS-I-00002866

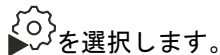
6.11 Bluetooth 機器のペアリング

CMS-T-00008356-A.1

Bluetooth 経由で、機械をモバイル端末に接続できます。希望するアプリケーションを、アプリストアからインストールします。

1. "設定" メニューで "機械" > "Bluetooth" を選択します。

2. ペアリングを有効化するには、



- ➔ ペアリングは有効です。

- ➔ Bluetooth・ペアリング用コードが表示されます。

3. モバイル端末でアプリケーションを起動します。

4. アプリケーションから機械への Bluetooth・ペアリングを確立します。

5. ソフトウェア・バージョンによっては、Bluetooth・ペアリング用コードを入力する必要はありません。
要求されたら、モバイル端末で Bluetooth・ペアリング用コードを入力します。

- ➔ 接続が確立されます。



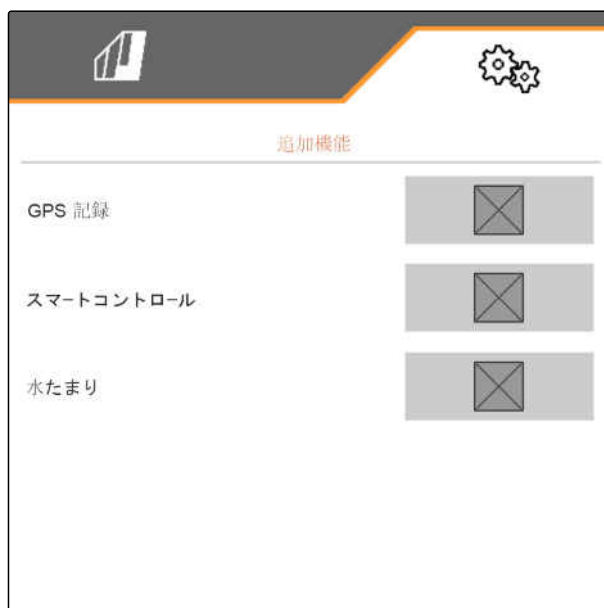
CMS-I-00005695

6.12 GPS 記録を有効にする

CMS-T-00000765-C.1

GPS 記録を使用すると、接続された操作端末のために、種子を散布することなく散布をシミュレートできます。操作端末は、走行したエリアを作業済みエリアとしてマークします。作業済みエリアを使用して、圃場境界線を作成できます。

1. "設定" メニューで "機械" > "追加機能" を選択します。
2. "GPS 記録" にチェック記号を付けます。



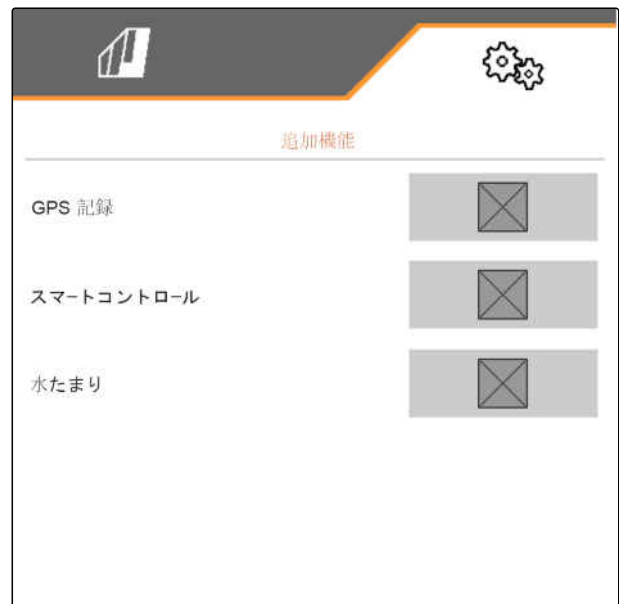
CMS-I-00000587

6.13 スマートコントロールを有効にする

CMS-T-00000766-C.1

スマートコントロールは、分離ディスクのスクレーパーを自動的に制御します。これにより、空白場所と重複場所が自動的に減少します。

1. "設定" メニューで "機械" > "追加機能" を選択します。
2. "スマートコントロール" にチェック記号を付けます。



CMS-I-00000587

6.14 水たまり機能の有効化

CMS-T-00003895-B.1

1. "設定" メニューで "機械" > "追加機能" を選択します。
2. "水たまり" にチェック記号を付けます。



CMS-I-00000587

プロファイルの管理

7

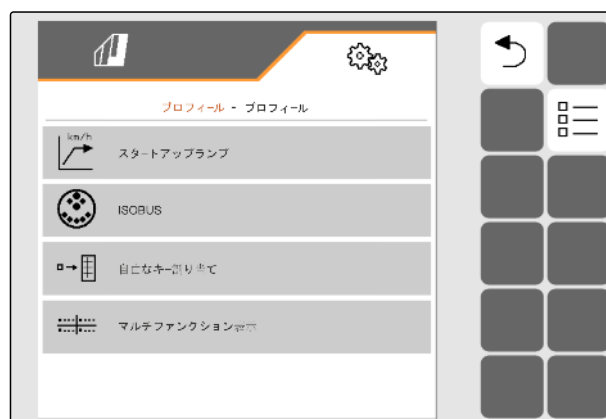
CMS-T-00003897-C.1

7.1 新しいプロファイルの作成

CMS-T-00003898-B.1

1. "設定" メニューで "プロファイル" を選択します。

2.  を選択します。



CMS-I-00002870

3.  を選択します。

➔ 新しいプロファイルが作成されました。



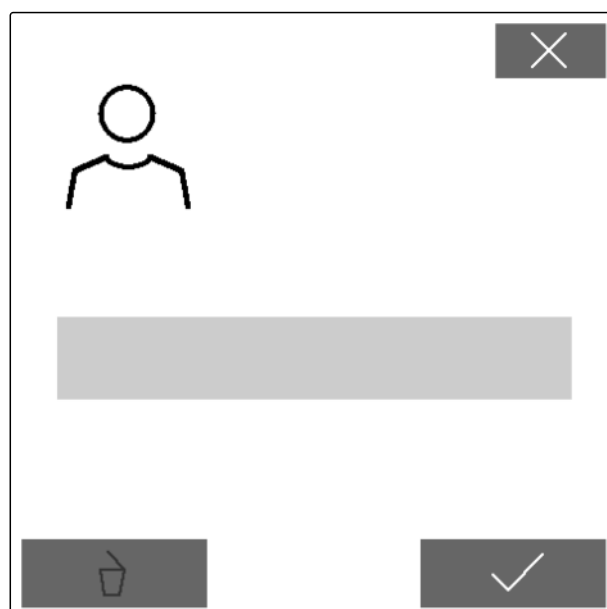
CMS-I-00002872

4. 新しく作成されたプロファイルを選択します。



CMS-I-00002874

5. プロファイル名を入力します。



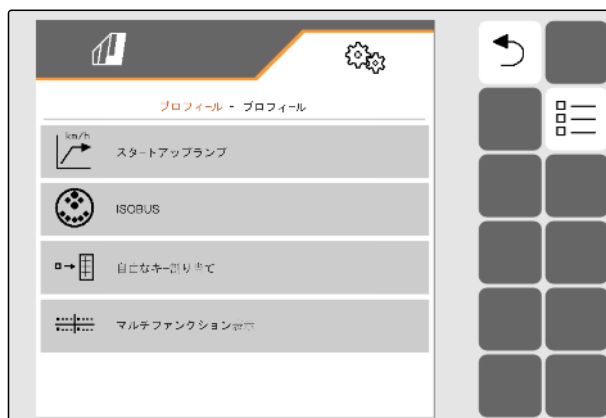
CMS-I-00002873

7.2 プロファイルの選択

CMS-T-00003899-B.1

1. "設定" メニューで "プロファイル" を選択します。

2.  を選択します。



CMS-I-00002870

3. 希望するプロファイルにチェック記号を付けます。



CMS-I-00002874

7.3 プロファイルの設定

CMS-T-00000768-E.1

7.3.1 マルチファンクション表示の変更

CMS-T-00000775-D.1

作業メニューのマルチファンクション表示には、4 つの異なる値を表示できます。次の表は、使用可能な値をすべて含んでいます。

値	説明
速度	現在の速度 (km/h)
種子の規定散布量	設定された種子の規定散布量
面積	作業済み面積 (ヘクタール)

値	説明
肥料の量	散布された肥料の量
ファンの実際回転数	ファン回転数（回転/分）
ファンの実際回転数 フロントタンク	ファン回転数（回転/分）
残りの面積	現在ある肥料で作業できる面積（ヘクタール）
残りの距離	現在ある肥料で作業できる距離（メートル）
ISO 変動係数	ISO に準拠した種子配置の精度の値。値が小さくなると、種子配置の精度が高くなります
ISO 標準偏差	規定配置ポイントからの平均偏差（ミリメートル）
肥料のキャリブレーション係数	散布量を決定する係数。キャリブレーション係数は、キャリブレーションで検出されます
播種面積	播種面積（ヘクタール）
微粒剤用ブロードキャスターの量	散布された微粒剤の量
規定場所の割合	適切に配置された種子の割合（パーセント）

1. "設定" メニューで "プロファイル" > "マルチファンクション表示" を選択します。
2. 表示を変更するには、希望する表示を選択します。
➡ 使用可能な値のリストが表示されます。
3. 希望する値をリストから選択します。
4. 選択を確定します。



CMS-I-00000679

7.3.2 スタートアップランプの設定

CMS-T-00000769-D.1

肥料の散布量は、作業速度に左右されます。機械が始動する場合は、散布される肥料は少なくなります。スタートアップランプは、散布される肥料が少なくなりすぎるのを防ぎます。通常の作業速度に達していない間、散布は事前選択された速度で制御されます。

7 | プロファイルの管理

プロファイルの設定

1. "設定" メニューで "プロファイル" > "スタートアップランプ" を選択します。
2. "スタートアップランプ" で、スタートアップランプを有効にします。
3. "事前選択された速度" で、散布量制御のために希望する速度を入力します。

ランプ開始速度は、事前選択された散布開始速度のパーセント値です。

4. "ランプ開始速度" で、希望するパーセント値を入力します。

作業速度がランプ開始速度から通常の作業速度に上がるまでには時間がかかります。この時間が、スタートアップランプの継続時間です。

5. "スタートアップランプの継続時間" で、時間を秒で入力します。



CMS-I-00000605

7.3.3 ISOBUS の設定

CMS-T-00000772-D.1

接続されている操作端末は、番号で識別されます。複数の端末が接続されている場合は、機械操作とドキュメント、セクションコントロールに端末を割り当てる必要があります。操作端末が1つしか接続されていない場合、この操作端末が自動的に割り当てられます。番号は、操作端末の設定で決定できます。

1. "設定" メニューで "プロファイル" > "ISOBUS" を選択します。
2.  を選択します。



CMS-I-00002875

3. 機械操作とドキュメント、セクションコントロール用の操作端末の番号を入力します。



CMS-I-00000597

4. 散布量の規定値を操作端末から受け入れる場合は、希望する製品または "全製品" のために外部規定値を提供" で選択します。



CMS-I-00002875

"マルチブーム"機能により、肥料と種子で別々のドロップオフポイントが可能になります。

5. "設定"メニューで "プロファイル" > "ISOBUS" を選択します。
6. "マルチブーム"を有効にします。



CMS-I-00002875

7.3.4 自由なキー割り当ての変更

CMS-T-00000774-B.1

自由なキー割り当てにより、作業メニューのボタンの割り当てを変更できます。そのために、すべての機能のリストが左側に、作業メニューが右側に表示されます。すべての機能のリストで、すでに使用されている機能は、オレンジ色のチェック記号が付いています。

1. "設定"メニューで "プロファイル" > "自由なキー割り当て" を選択します。
2. 希望する機能が最初のページにない場合は、 で次のページを呼び出します。
3. すべての機能のリストから、希望する機能を選択します。
➡ 選択された機能には、白い枠が付きます。
4. 作業メニューで希望するボタンを選択します。
➡ 選択したボタンに、選択した機能が割り当てられます。



CMS-I-00000589

5. 他のボタンを割り当てます

または

 で割り当てを確定します

または

 で割り当てを拒否します。

7.3.5 マルチファンクション表示の変更

CMS-T-00000775-D.1

作業メニューのマルチファンクション表示には、4 つの異なる値を表示できます。次の表は、使用可能な値をすべて含んでいます。

値	説明
速度	現在の速度 (km/h)
種子の規定散布量	設定された種子の規定散布量
面積	作業済み面積 (ヘクタール)
肥料の量	散布された肥料の量
ファンの実際回転数	ファン回転数 (回転/分)
ファンの実際回転数 フロントタンク	ファン回転数 (回転/分)
残りの面積	現在ある肥料で作業できる面積 (ヘクタール)
残りの距離	現在ある肥料で作業できる距離 (メートル)
ISO 変動係数	ISO に準拠した種子配置の精度の値。値が小さくなると、種子配置の精度が高くなります
ISO 標準偏差	規定配置ポイントからの平均偏差 (ミリメートル)
肥料のキャリブレーション係数	散布量を決定する係数。キャリブレーション係数は、キャリブレーションで検出されます
播種面積	播種面積 (ヘクタール)
微粒剤用ブロードキャスターの量	散布された微粒剤の量
規定場所の割合	適切に配置された種子の割合 (パーセント)

1. "設定" メニューで "プロファイル" > "マルチファンクション表示" を選択します。
2. 表示を変更するには、希望する表示を選択します。
➡ 使用可能な値のリストが表示されます。
3. 希望する値をリストから選択します。
4. 選択を確定します。



CMS-I-00000679

製品の管理

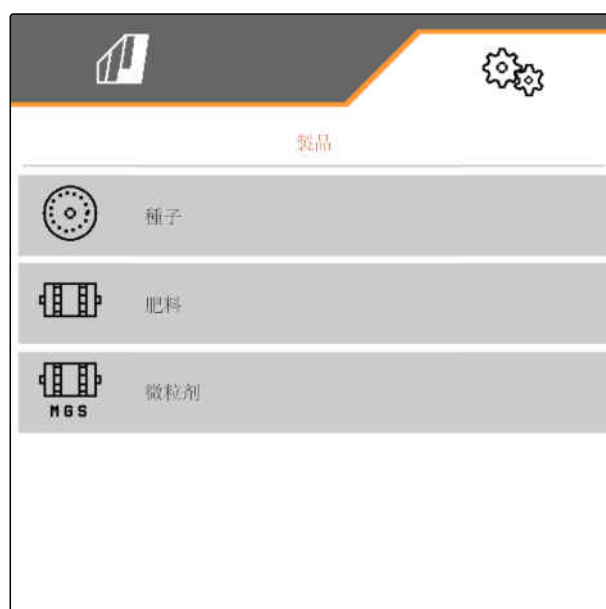
8

CMS-T-00000780-G.1

8.1 新しい製品の作成

CMS-T-00003915-C.1

1. "設定" メニューで "製品" を選択します。
2. "種子" か "肥料" か "微粒剤" を選択します。



CMS-I-00002891

3.  を選択します。



CMS-I-00002888

4.  を選択します。

➡ 新しい製品が作成されました。



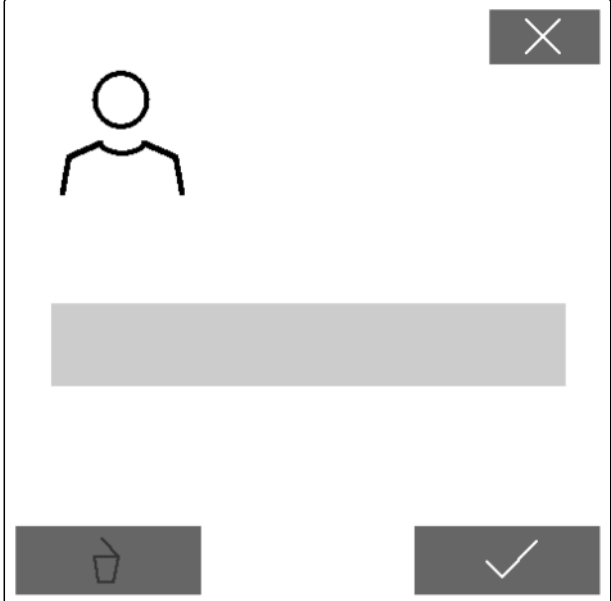
CMS-I-00002889

5. 新しく作成した製品を選択します。



CMS-I-00002890

6. 製品名を入力します。

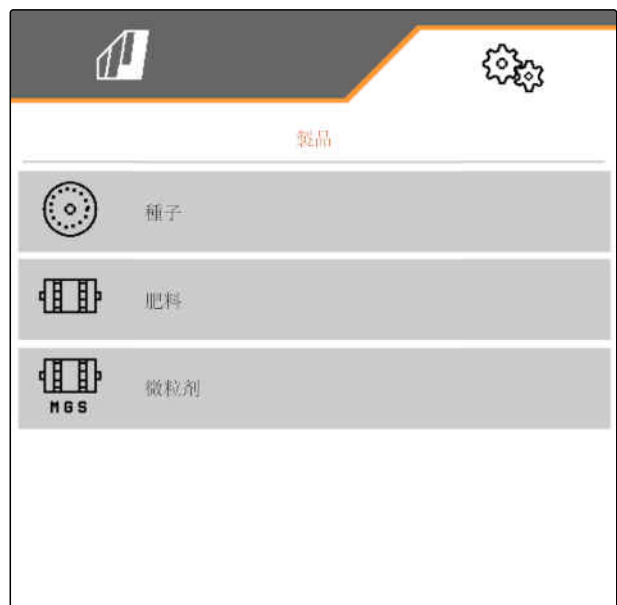


CMS-I-00002873

8.2 製品の選択

CMS-T-00003916-C.1

1. "設定" メニューで "製品" を選択します。
2. "種子" か "肥料" か "微粒剤" を選択します。



CMS-I-00002891

3. を選択します。



CMS-I-00002888

4. 希望する製品にチェック記号を付けます。



CMS-I-00002890

8.3 種子のセットアップ

CMS-T-00000781-G.1

1. "設定" メニューで "製品" > "種子" を選択します。
2. "シードディスク" で、希望するシードディスクを選択メニューから選択します。

または

"シードディスク" で、上にある選択メニューの "... " を選択して、カスタムディスク

... 120 / 1.3 mm を入力します。

規定散布量を入力すると、ソフトウェアが栽培間隔を計算します。栽培間隔を入力すると、ソフトウェアが規定散布量を計算します。

3. "規定散布量 1" で、希望する散布量（種子／ヘクタール）を入力します。

または

"栽培間隔 1" で、希望する種子間隔を入力します。

4. まだ種子があるか監視する場合は、"ローレベル監視" を有効にします。

5.  で、メニューページをスクロールします。



CMS-I-00000604



警告

感度が高すぎる場合の不正確な測定

光電センサーの感度に高すぎる値を選択すると、例えば埃や砂粒、不純物などが種子として認識される可能性があります。

- ▶ 光電センサーの感度に高すぎる値を選択しないでください。

光電センサーの感度によって、認識される種子サイズが決まり、小さな種子でも確実に認識されるようになります。

光電センサーの感度には、次の値を推奨します：

種子	感度
菜種	100 %
モロコシ	≤ 90 %
大豆	≤ 90 %
ソラマメ	≤ 90 %
とうもろこし	≤ 90 %
テンサイ	≤ 90 %
ひまわり	≤ 90 %



CMS-I-00004086

6. 光電センサーの感度を設定します。



警告

信号増幅が高すぎる場合の不正確な測定

信号増幅に高すぎる値を選択すると、例えば埃や砂粒、不純物などが種子として認識される可能性があります。

- ▶ 信号増幅に高すぎる値を選択しないでください。

信号増幅により、光電センサーの信号が増加します。

汚れが増すと、増幅が段階的に増加する可能性があります：

- OFF
- 低
- 中
- 高
- 最大

光電センサーの信号増幅には、次の値を推奨します：

種子	信号増幅
菜種	低
モロコシ	低
大豆	低
ソラマメ	低

種子	信号増幅
とうもろこし	低
テンサイ	低
ひまわり	低

7. 光電センサーの信号増幅を設定します。
8. スイッチ ON 時間とスイッチ OFF 時間を設定するには、
"セクションコントロールのセットアップ"を参照。
9.  で、メニューページをスクロールします。

トラムラインが作成されると、隣の列で規定散布量を増加できます。

10. "隣の列で種子量増加"で、増加量をパーセントで入力します。

規定散布量を入力すると、ソフトウェアが栽培間隔を計算します。栽培間隔を入力すると、ソフトウェアが規定散布量を計算します。

11. "規定散布量 2"で、希望する散布量（種子／ヘクタール）を入力します。

または

"栽培間隔 2"で、希望する種子間隔を入力します。

12. 異なる規定散布量を列に割り当てる場合は、
> で次へ



CMS-I-00005691

13. それぞれの列の規定散布量を入力します。



Column	Value (K/ha)
1	70000
2	90000
3	70000
4	90000
5	70000
6	90000
7	70000
8	90000
9	70000
10	90000
11	70000
12	90000

CMS-I-00005692

8.4 肥料のセットアップ

CMS-T-00000782-E.1

1. "設定" メニューで "製品" > "肥料" を選択します。
2. "計量ホイール" で、希望する計量ホイールを選択メニューから選択します

または

"計量ホイール" で、上にある選択メニューの "..." を選択して、カスタム容量 cm³ を入力します。

3. "規定散布量" で、希望する散布量を入力します。

キャリブレーション面積は、キャリブレーション中に肥料が散布される面積に相当します。

4. 希望するキャリブレーション面積を入力します。



計量ホイール	100 cm³
規定散布量	120 kg/ha
キャリブレーション面積	1/40 ha
キャリブレーション係数	1.000

CMS-I-00000593

散布量を調整するには、規定散布量に "キャリブレーション係数" を掛けます。キャリブレーション係数は、キャリブレーションで検出されます。

5. 経験値をキャリブレーション係数として入力します

または

値を維持します。

6.  で、メニューページをスクロールします。

7. まだ肥料があるか監視する場合は、
"ローレベル監視" を有効にします。

8. "隣の列で量増加" で、増加量をパーセントで入力します。

9. スイッチ ON 時間とスイッチ OFF 時間を設定するには、
"セクションコントロールのセットアップ" を参照。

8.5 微粒剤のセットアップ

CMS-T-00000933-E.1

1. "設定" メニューで "製品" > "微粒剤" を選択します。

2. "計量ホイール" で、希望する計量ホイールを選択メニューから選択します

または

"計量ホイール" で、上にある選択メニューの "..."
を選択して、カスタム容量  10 cm³ を入力します。

3. "規定散布量" で、希望する散布量を入力します。

キャリブレーション面積は、キャリブレーション中に微粒剤が散布される面積に相当します。

4. 希望するキャリブレーション面積を入力します。



CMS-I-00000600

散布量を調整するには、規定散布量に "キャリブレーション係数" を掛けます。キャリブレーション係数は、キャリブレーションで検出されます。

5. 経験値をキャリブレーション係数として入力します

または

値を維持します。

6.  で、メニューページをスクロールします。

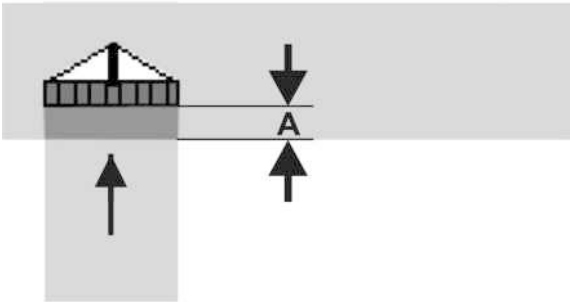
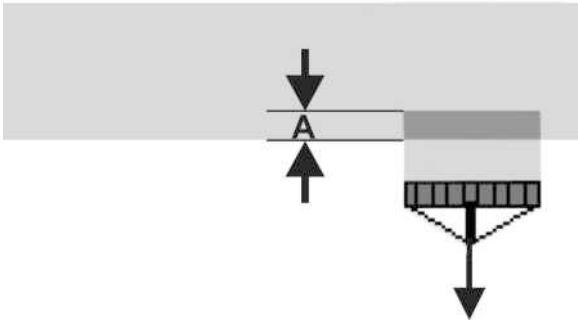
7. まだ微粒剤があるか監視する場合は、
"ローレベル監視" を有効にします。

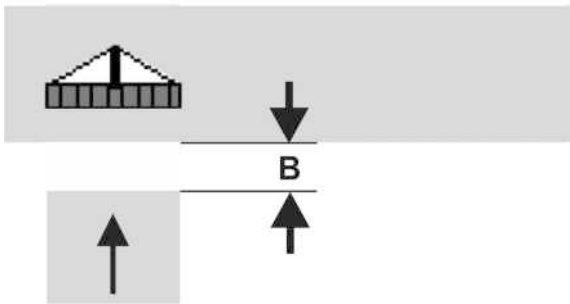
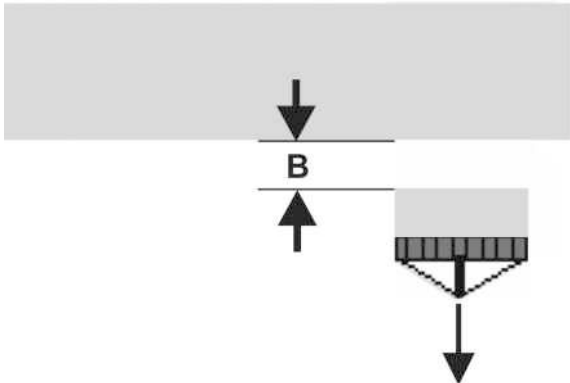
8. "隣の列で量増加" で、増加量をパーセントで入力します。

8.6 セクションコントロールのセットアップ

CMS-T-00000773-D.1

セクションコントロール経由でドロップオフポイントが切り替えられる場合、ドライブが反応するまでに数百ミリ秒かかります。これらの遅延は、オーバーラップまたは未作業エリアの原因になる可能性があります。切り替え時間は、スイッチ ON およびスイッチ OFF の際に、この遅延を補正します。

スイッチ OFF 時間	スイッチ ON 時間
作業済みエリアに進入する際にスイッチ OFF	作業済みエリアから出る際にスイッチ ON
	
(A) オーバーラップの長さ	

スイッチ OFF 時間	スイッチ ON 時間
作業済みエリアに進入する際にスイッチ OFF	作業済みエリアから出る際にスイッチ ON
	
(B) 未作業エリアの長さ	

1. "設定" メニューで "製品" > "肥料" を選択します

または

"設定" メニューで "製品" > "種子" を選択します。

2.  で、メニューページをスクロールします。

3. 作業済みエリアに進入する際にオーバーラップが生じる場合、
スイッチ OFF 時間を長くします

または

作業済みエリアに進入する際に未作業エリアが生じる場合、
スイッチ OFF 時間を短くします

または

作業済みエリアから出る際にオーバーラップが生じる場合、
スイッチ ON 時間を短くします

または

作業済みエリアから出る際に未作業エリアが生じる場合、
スイッチ ON 時間を長くします。

肥料または微粒剤の散布量をキャリブレーション

9

CMS-T-00005786-B.1

9.1 ISOBUS 端末またはキャリブレーションボタンでキャリブレーション

CMS-T-00000755-E.1



必要条件

- ✓ ファンが OFF になっている
- ✓ 機械が止まっている

1. 圃場メニューで "キャリブレーション" > "肥料" または "微粒剤" を選択します。

散布量を調整するには、規定散布量に "キャリブレーション係数" を掛けます。キャリブレーション係数は、キャリブレーションで検出されます。

2. "所定の速度" で、後の作業速度を入力します。
3. 規定散布量を入力します。

分散計量システムを備える機械には、計量ホイールが付いています。計量容量は、列ごとに示されます。中央計量システムを備える機械には、計量ローラーが付いています。計量容量は、すべての列の合計です。

4. "計量ホイール" で、希望する計量ホイールを選択メニューから選択します

または

"計量ホイール" で、上にある選択メニューの "..." を選択して、カスタム容量 cm^3 を入力します。

5. > で次へ

The screenshot shows a calibration screen titled "キャリブレーション" (Calibration). It includes a green header bar and a green border. The main content area has a green background with white text. At the top, it says "値をチェックし必要に応じて変更します!" (Check the values and change if necessary!). Below this are three rows of input fields: "予定の速度" (Planned speed) with a value of 8.0 km/h, "規定散布量" (Specified distribution rate) with a value of 120 kg/ha, and "計量ホイール" (Measurement wheel) with a value of 100 cm³. At the bottom, there are two large buttons: a grey one with a white 'X' and a grey one with a white '>'.

CMS-I-00000708

キャリブレーション面積は、キャリブレーション中に肥料または微粒剤が散布される面積に相当します。

6. 希望するキャリブレーション面積を入力します。

キャリブレーションの開始方法は、キャリブレーションの種類で決まります。

7. キャリブレーションを ISOBUS 操作端末で開始するには、
ISOBUS 操作端末を選択します。

または

キャリブレーションをキャリブレーション
ボタンで開始するには、
キャリブレーションボタンを選択します。

8. > で次へ

9. 取扱説明書に従って、機械でキャリブレーションの準備します。

10. ディスプレイに表示されているポイントが満たされている場合、

> で次へ

11. キャリブレーションの種類として ISOBUS 操作端末が選択された場合、
ISOBUS 操作端末でキャリブレーションを実行します

または

キャリブレーションの種類としてキャリブレーションボタンが選択された場合、
機械のキャリブレーションを実行します。

The screenshot shows a software interface for calibration. At the top, there is a header with a gear icon and the title 'キャリブレーション' (Calibration). Below the header, a green message says '値をチェックし必要に応じて変更します!' (Check the value and change if necessary!). There are three input fields: 'Kalibrierwert' (Calibration value) with the value '1.000', 'キャリブレーション面積' (Calibration area) with the value '1/100 ha', and 'キャリブレーションタイプ' (Calibration type) with the value 'ISOBUS 端末' (ISOBUS terminal). At the bottom, there are two buttons: a back button with a cross icon and a forward button with a right arrow icon.

CMS-I-00000706

The screenshot shows a software interface for calibration. At the top, there is a header with a gear icon and the title 'キャリブレーション' (Calibration). Below the header, a green message says '次の点をチェックして、確定します!' (Check the following points and confirm!). There are three checklist items: 'キャリブレーションフラップは開いていますか?' (Is the calibration flap open?), '事前計量済みですか?' (Is it pre-measured?), and 'キャリブレーションタンクは空になっていますか?' (Is the calibration tank empty?). At the bottom, there are two buttons: a back button with a cross icon and a forward button with a right arrow icon.

CMS-I-00000707

9 | 肥料または微粒剤の散布量をキャリブレーション ISOBUS 端末またはキャリブレーションボタンでキャリブレーション

12. 収容された量を量ります。
13. キャリブレーションタンクの重量を考慮します。
14. 収容された量の重さを入力します。
15. > で次へ進みます。

➡ キャリブレーション係数が計算されました。

The screenshot shows a calibration screen with a green header and a gear icon. The title is 'キャリブレーション' (Calibration). Below the title, it says '収容した量を入力してください!' (Please enter the amount stored!). There is a progress bar with a grey segment and a black segment. Below the progress bar, the values '0.083 ha' and '24.450 kg' are displayed. To the left of the '24.450 kg' is the label '収容した量' (Amount stored). To the right of the '24.450 kg' is a grey input field containing '1.000 kg'. At the bottom, there are two buttons: a grey button with a white 'X' and a grey button with a white '>'.

CMS-I-00000710

16. ✓ で、表示されたキャリブレーション係数を適用します。

または

表示されたキャリブレーション係数を適用し、最適化のためにキャリブレーションを繰り返すには、

↺ を選択します

または

✗ で、表示されたキャリブレーション値を拒否します。

The screenshot shows the final results of the calibration. The title is 'キャリブレーション' (Calibration). Below the title, it says '新しいキャリブレーション値' (New calibration value) and '1.041'. Below that, it says '量の偏差のパーセント値' (Percentage value of quantity deviation) and '0.00 %'. Below that, it says '値を保存?' (Save value?). At the bottom, there is a green circle with a white exclamation mark and the text 'キャリブレーションフラップを閉じます!' (Close the calibration flap!). At the bottom, there are three buttons: a grey button with a white 'X', a grey button with a white circular arrow, and a grey button with a white checkmark.

CMS-I-00000709

9.2 ツインターミナルでキャリブレーション

CMS-T-00005787-B.1



必要条件

- ✓ ファンが OFF になっている
- ✓ 機械が止まっている

1. 圃場メニューで "キャリブレーション" > "肥料"
または "微粒剤" を選択します。

散布量を調整するには、規定散布量に "キャリブレーション係数" を掛けます。キャリブレーション係数は、キャリブレーションで検出されます。

2. "所定の速度" で、後の作業速度を入力します。
3. 規定散布量を入力します。

分散計量システムを備える機械には、計量ホイールが付いています。計量容量は、列ごとに示されます。中央計量システムを備える機械には、計量ローラーが付いています。計量容量は、すべての列の合計です。

4. "計量ホイール" で、希望する計量ホイールを選択メニューから選択します

または

"計量ホイール" で、上にある選択メニューの "..."
を選択して、カスタム容量 cm^3 を入力します。

5. > で次へ

キャリブレーション面積は、キャリブレーション中に肥料または微粒剤が散布される面積に相当します。

6. 希望するキャリブレーション面積を入力します。

キャリブレーションの開始方法は、キャリブレーションの種類で決まります。

7. ツインターミナルでキャリブレーションを実行するには、
ツインターミナルを選択します

8. > で次へ

キャリブレーション

値をチェックし、必要に応じて変更します!

予定の速度	8.0 km/h
規定散布量	120 kg/ha
計量ホイール	100 cm ³

Navigation buttons: X (cancel), > (next)

CMS-I-00000708

キャリブレーション

値をチェックし、必要に応じて変更します!

Kalibrierwert	1.000
キャリブレーション面積	1/100 ha
キャリブレーションタイプ	ISOBUS 端末

Navigation buttons: X (cancel), > (next)

CMS-I-00000706

9 | 肥料または微粒剤の散布量をキャリブレーション ツインターミナルでキャリブレーション

9. キャリブレーションの前に、入力を点検します。

10.  で入力を確定します。

または

入力を修正するには、

 を押します。



CMS-I-00004049

11. 取扱説明書に従って、機械でキャリブレーションの準備します。

12. 事前計量  を 5 秒間押し続けます。

13.  で事前計量を確定します。

14. キャリブレーションタンクを空にします。



CMS-I-00004059

15. キャリブレーションタンクを計量装置の下に配置します。

16. 計量装置が開いていて、空のキャリブレーションタンクが配置されていれば、

 で確定します。

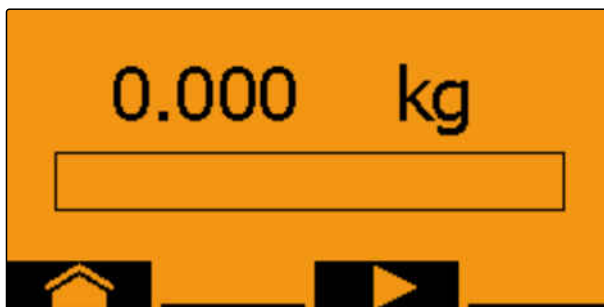


CMS-I-00004054

17. キャリブレーションを開始するには、

 を押し続けます。

➡ キャリブレーション中に、理論上散布された量が表示されます。



CMS-I-00004053

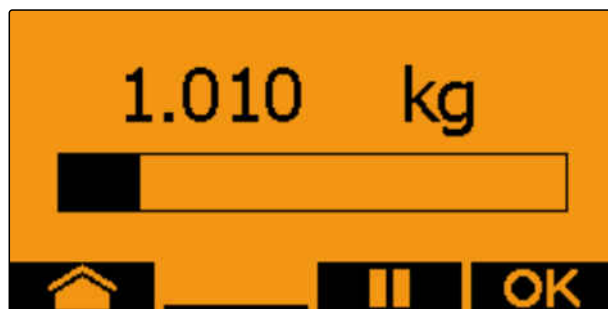
注記

量が多い場合は、キャリブレーション中にキャリブレーションタンクを空にするために、プロセスを停止してから再開できます。

"OK"が表示されると、直ちにキャリブレーションを早期終了できます。

18. キャリブレーションを終了するには、

を押します。



CMS-I-00004052

表示が緑色になると、キャリブレーションが終了しています。計量装置は自動的に停止します。

19. 入力メニューに切り替えるには、

を押します。



CMS-I-00004051

20. 希望する位置を選択するには、

または を押します。

➔ 選択した位置は矢印 で表示されます。

21. 数値入力に切り替えるには、

を押します。



CMS-I-00004048

下線は、選択された数字入力を示します。

22. 希望する値を入力するには、

または を押します。

23. 入力した値を適用するには、

を押します。



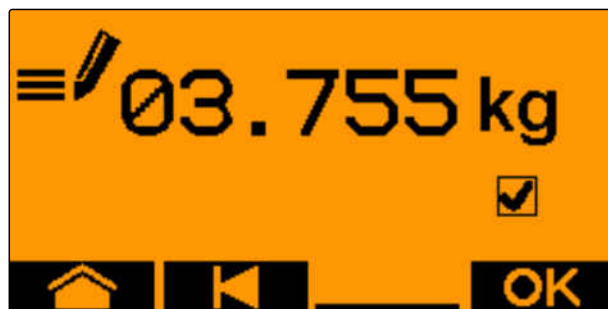
CMS-I-00004047

24. すべての値を入力します。

25. ☐ が選択されるまで、 を押します。

26. キャリブレーション係数を適用するには、

を押します。



CMS-I-00004061

新しいキャリブレーション係数、そしてキャリブレーション量と理論上の量の差がパーセントで表示されます。

27. キャリブレーションメニューを終了するには、

 を押します。

または

キャリブレーションの値を破棄するために。
新たにキャリブレーションを開始します。

 を押します。

28. キャリブレーション後に ISOBUS 操作端末の
操作を有効にするには、

 を押します。



CMS-I-00004050

作業

10

CMS-T-00000790-E.1

10.1 散布の開始

CMS-T-00000756-C.1



必要条件

- ✓ 機械が設定されている
- ✓ 散布量がキャリブレーションされている
- ✓ 適切なプロファイルが選択されている
- ✓ プロファイルが設定されている
- ✓ 製品が設定されている
- ✓ 機械は問題なし
- ✓ 機械は作業位置にある
- ✓ ファンが規定回転数に達している
- ✓ セクションコントロール用：セクションコントロールは操作端末で有効化されている

1. "作業" メニューを呼び出します。
2. トラムラインカウンタが0 で始まる場合、
 でトラムラインカウンタをリセットします。
3.  でブームセクションを ON にします。
4. セクションコントロールを使用する場合、
 でセクションコントロールを ON にします。
5. 一定の速度で走行します。



注記

機械が急激に減速または加速すると、種子配置精度が低下します。AMAZONE は、機械の速度信号の使用を推奨します。

10.2 種子の散布量を変更

CMS-T-00000792-C.1

✓ 必要条件

- ✓ 種子の規定散布量が定められている
- ✓ 種子散布の量変更幅が定められている

▶ 定められた量変更幅だけ散布量を増やすには

作業メニューで  を選択します

または

定められた量変更幅だけ散布量を減らすには

作業メニューで  を選択します

または

定められた規定散布量を設定するには、

作業メニューで  100% を選択します。

10.3 肥料の散布量を変更

CMS-T-00000793-B.1

✓ 必要条件

- ✓ 肥料の規定散布量が定められている
- ✓ 肥料散布の量変更幅が定められている

▶ 定められた量変更幅だけ散布量を増やすには

作業メニューで  を選択します

または

定められた量変更幅だけ散布量を減らすには

作業メニューで  を選択します

または

定められた規定散布量を設定するには、

作業メニューで  100% を選択します。

10.4 微粒剤の散布量を変更

CMS-T-00000923-A.1



必要条件

- ✓ 微粒剤の規定散布量が定められている
- ✓ 微粒剤散布の量変更幅が定められている

▶ 定められた量変更幅だけ散布量を増やすには

作業メニューで  を選択します

または

定められた量変更幅だけ散布量を減らすには

作業メニューで  を選択します

または

定められた規定散布量を設定するには、

作業メニューで  を選択します。

10.5 ブームセクションの手動切り替え

CMS-T-00000794-B.1

ブームセクションは、右から左または左から右へ、手で ON および OFF に切り替えられます。



注記

機械が作業位置でなくなると、ブームセクションは共に OFF になります。ブームセクションは、メインブームセクションスイッチと一緒に OFF にすることもできます。すべてのブームセクションが一緒に OFF にされると、再び一緒に ON になります。ブームセクションの手動切り替えは保存されません。

- ▶ ブームセクションを左から右へONにするには、

作業メニューで  を選択します

または

ブームセクションを右から左へONにするには、

作業メニューで  を選択します

または

ブームセクションを左から右へOFFにするには、

作業メニューで  を選択します

または

ブームセクションを右から左へOFFにするには、

作業メニューで  を選択します。

または

すべてのブームセクションをONにするには、

作業メニューで  を選択します。

10.6 充填する

CMS-T-00005778-B.1

10.6.1 補充された肥料または微粒剤の量を入力

CMS-T-00000753-D.1

1. 圃場メニューで "充填" を選択します。
2. "肥料" または "微粒剤" を選択します。
3. 表示された残留量が実際の残留量と一致しない場合、
→0 で残留量をゼロにします。

実際の残留量は、補充量に加算できます。

4. 補充された量を入力します。

➡ 新しい充填レベルが表示されます。

5. ✓ で新しい充填レベルを確定します。

CMS-I-00000729

10.6.2 秤タンクの充填

CMS-T-00005779-B.1

1. 圃場メニューで "充填" > "肥料" を選択します。
2. 作業するエリアと散布量を入力します
または
規定充填レベルを入力します。

3. 操作端末で充填レベルを監視するには、
🔍+ を押します。

4. タンクを充填します。

➡ 充填レベルが規定充填レベルに近づくと、作業灯の点滅が速くなり始めます。

➡ 規定充填レベルに達すると、作業灯が点灯し続けます。

CMS-I-00004095

10.7 コールタ圧の調整

CMS-T-00003907-B.1



注記

コールタ圧の設定は、それぞれの使用条件に合わせる必要があります。最適な設定は、圃場での使用においてのみ検出できます。

使用条件	コールタ圧または垂直力
重い土壌	コールタ圧または垂直力を高くします：
軽い土壌	コールタ圧または垂直力を低くします：

コールター圧制御を使用する場合、作業メニューにパーセント値が表示されます。垂直力制御を使用する場合、作業メニューに追加重量がキログラムで表示されます。

1. コールタ圧または垂直力を高くするには、
作業メニューで を選択します。
2. コールタ圧または垂直力を低くするには、
作業メニューで を選択します。
3. 使用条件により一定した垂直力制御が不可能な場合、
コールター圧制御を使用します。"コールタ圧監視の設定" を参照

10.8 トラムラインカウンタの使用

CMS-T-00000795-E.1

トラムラインを作成するには、個々のブームセクションを OFF にします。トラムラインが作成されるリズムを設定する必要があります。トラムラインを点検するために、トラックと作成されたトラムラインがカウントされます。カウンタは、作業メニューの機械データに表示されます。

トラムラインが検出されると、操作端末は 3 回の音響警告信号によるフィードバックを送ります。



必要条件

- ✓ トラムラインスイッチが有効になっている
- ✓ トラムラインスイッチが設定されている

- ▶ **トラムラインカウンタを0にするには**

 →0を選択します。
- ▶ **トラムラインカウンタの値が正しくない場合は、**
 または  でトラムラインカウンタを修正します。
- ▶ **トラムラインカウンタを一時停止するには、**

 IIを選択します。
- ➔ トラムラインカウンタが黄色になります。
- ▶ **トラムラインカウンタを開始するには、**
 再度  IIを選択します。

10.9 シフトトラムラインの使用

CMS-T-00005776-B.1

シフトトラムラインが作成されると、対応するコールタの棒グラフにタイヤプロファイルとシフト方向を示す矢印が追加されます .

機械を持ち上げると、コールタがシフトします。

- ▶ **機械を下げた状態でもコールタがシフトするように、**
 使用する機械をゆっくりと始動します。

10.10 トラムラインマーキングの使用

CMS-T-00005777-B.1

トラムラインマーキングが作成されると、対応するコールタの棒グラフがタイヤプロファイルに置き換えられます .

- ▶ **機械を下げた状態でもコールタが上がるように、**
 使用する機械をゆっくりと始動します。

10.11 トラムラインスイッチのミラーリング

CMS-T-00003906-B.1

トラムラインスイッチは、機械設定で設定されます。設定中に、作業開始時に圃場周縁がどちら側になるか指定する必要があります。それによって、トラムラインの列がトラック変更のたびに OFF になります。作業中、設定されたトラックリズムに反して運転できるように、トラムラインスイッチをミラーリングできます。

- ▶ ボタンバーで  を選択します。

10.12 スクレーパーを手動で設定

CMS-T-00000816-C.1

10.12.1 すべてのスクレーパーを手動で設定

CMS-T-00000797-C.1

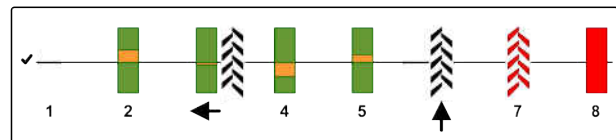
スクレーパーは、分離ディスクにある種子を分離します。スクレーパーの作用が強すぎると、空白場所が生じます。スクレーパーの作用が弱すぎると、重複場所が生じます。



必要条件

- ✓ スマートコントロールが無効にされている

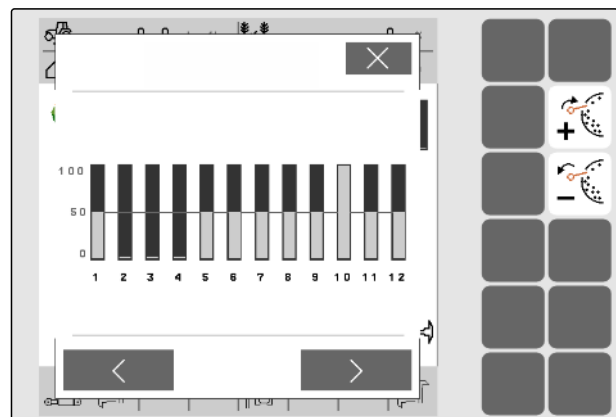
1. 作業メニューで棒グラフを選択します。



CMS-I-00000727

2. 空白場所が多すぎる場合は、
 でスクレーパー作用を弱くします。

3. 重複場所が多すぎる場合は、
 でスクレーパー作用を強くします。



CMS-I-00002885

10.12.2 個々のスクレーパーを手動で設定

CMS-T-00000817-C.1

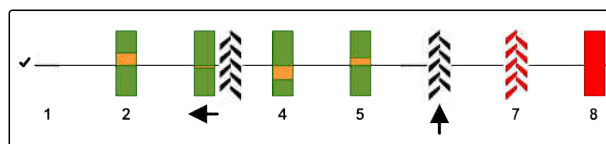
スクレーパーは、分離ディスクにある種子を分離します。スクレーパーの作用が強すぎると、空白場所が生

じます。スクレーパーの作用が弱すぎると、重複場所が生じます。

✓ 必要条件

- ✓ スマートコントロールが無効にされている

1. 作業メニューで棒グラフを選択します。



CMS-I-00000727

2. 矢印で、希望するコールタを選択します。

➡ 選択したコールタの値が表示されます。

3. 空白場所が多すぎる場合は、

 でスクレーパー作用を弱くします。

4. 重複場所が多すぎる場合は、

 でスクレーパー作用を強くします。



CMS-I-00002886

10.13 肥料と微粒剤の事前計量

CMS-T-00000798-A.1

✓ 必要条件

- ✓ 設定で事前計量の時間が定められている

▶ 作業メニューで  を選択します。

➡ 肥料と微粒剤は、定められた時間に事前計量されます。

10.14 コンフォート油圧系統の使用

CMS-T-00000800-D.1

コンフォート油圧系統を使用すると、同一のトラクタ制御装置を介して、様々な油圧機能を実行できます。作業メニューで、油圧機能の中から選択できます。事前選択された油圧機能は、ステータスバーに表示されます。

次の表が、使用可能な油圧機能を示しています。

機械サイドアームを操作する		トラックマーカを操作する	フレームバラストを操作する



警告

予期しない油圧機能が有効になる

- ▶ トラクター制御装置を操作する前に、選択されたコンフォート油圧系統の油圧機能を点検してください。

1. で油圧機能を事前選択します。
 ➔ 事前選択された油圧機能は、ステータスバーに表示されます。
2. トラクター制御装置 "緑色" を操作します。

10.15 トラックマーカの制御

CMS-T-00003910-A.1

両方トラックマーカを交互に使用する	左側のトラックマーカを使用する	右側のトラックマーカを使用する	両方のトラックマーカを同時に使用する	トラックマーカを使用しない

1. トラックマーカ機能を選択するには、
 ボタンバーで を選択します。
2. トラックマーカ機能を作動させるには、
 ボタンバーで を選択します。

10.16 分離ディスクの充填

CMS-T-00000801-A.1

ファンを OFF にすると、種子が分離ディスクから離れます。遅延なく種子を散布するために、手動で分離ディスクに種子を充填できます。

- ▶ 作業メニューで を選択します。

10.17 GPS 記録の使用

CMS-T-00000802-A.1

GPS 記録を使用すると、接続された操作端末のために、種子を散布することなく散布をシミュレートできます。操作端末は、走行したエリアを作業済みエリアとしてマークします。作業済みエリアを使用して、操作端末で圃場境界線を作成できます。



必要条件

- ✓ 使用された操作端末は、作業済みエリアから圃場境界線を作成できる
- ✓ 設定で GPS 記録が有効になっている

1. 作業メニューで  を選択します。

➔ GPS 記録が ON になっています。

2. 圃場境界線から始動します。

3. 圃場で操車する場合は、



で GPS 記録を OFF にします。

4. 操作端末で圃場境界線を作成します。

5. 操作端末で作業済みエリアを削除します。

10.18 作業灯の使用

CMS-T-00000815-C.1

作業メニューのボタンバーをスクロールするには、



を押します。



重要

作業灯の過度の電力消費による機械損傷

機械のジョブコンピュータは、作業灯の出力が 48 ワットを超えると損傷します。

- ▶ ISOBUS ソフトウェアを介して、出力 48 ワットまでの LED 作業灯のみを ON/OFF してください。

1. 作業灯を ON するには、
作業メニューで  を押します。
→ 作業灯のアイコンがステータスバーに表示されます。
2. 道路走行中に作業灯を OFF するには、
再度  を押します。
→ ステータスバーのアイコンが消えます。

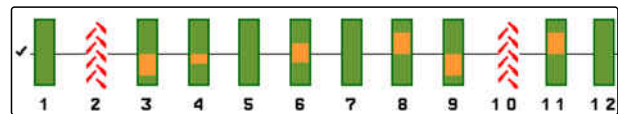
10.19 列のロック

CMS-T-00003908-B.1



必要条件

- ✓ ロック可能な列が定められている
- ▶ 列をロックまたはロック解除するには、
作業メニューで  を選択します。
→ ロックされた列には、棒グラフの代わりにトラムライン記号が表示されます。
- 機械の作業幅は変わりません。



CMS-I-00002897



注記

機械の作業幅を調整するには、機械取扱説明書 "播種列数の調整" を参照。

10.20 水たまり機能の使用

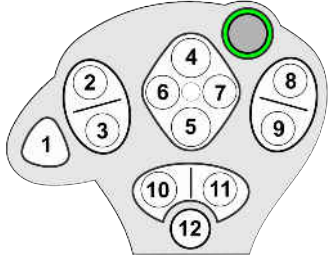
CMS-T-00003909-A.1

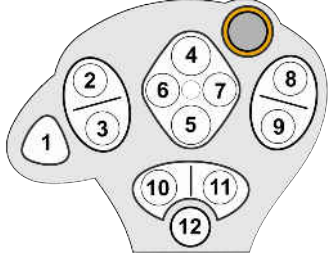
水たまり機能を使用すると、散布を停止せずに機械を持ち上げることができます。

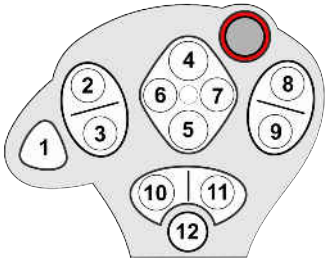
1. 作業メニューで  を選択します。
2. 機械を上昇させます。
3. 水たまり機能を終了するには、
機械を降下させてください。

10.21 マルチファンクションハンドル AmaPilot+ の使用

CMS-T-00005809-A.1

番号	機能	階層 1
1	肥料の事前停止機能	
2	右側の列からスイッチ ON	
3	左側の列からスイッチ OFF	
4	分離工程の種子量増加	
5	分離工程の種子量削減	
6	肥料の量増加	
7	肥料の量削減	
8	左側の列からスイッチ ON	
9	右側の列からスイッチ OFF	
10	肥料の規定量変更をリセット	
11	分離工程の規定量変更をリセット	
12	肥料の事前計量	

番号	機能	階層 2
1	コンフォート油圧スイッチ	
2		
3		
4	微粒剤の量増加	
5	微粒剤の量削減	
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12	分離工程の事前割り当て	

番号	機能		階層 3
1			
2			
3			
4	トラムラインのインクリメント		
5	トラムラインのデクリメント		
6	スクレーパー間隔を長くする		
7	スクレーパー間隔を短くする		
8			
9			
10			
11			
12	トラムライン停止		

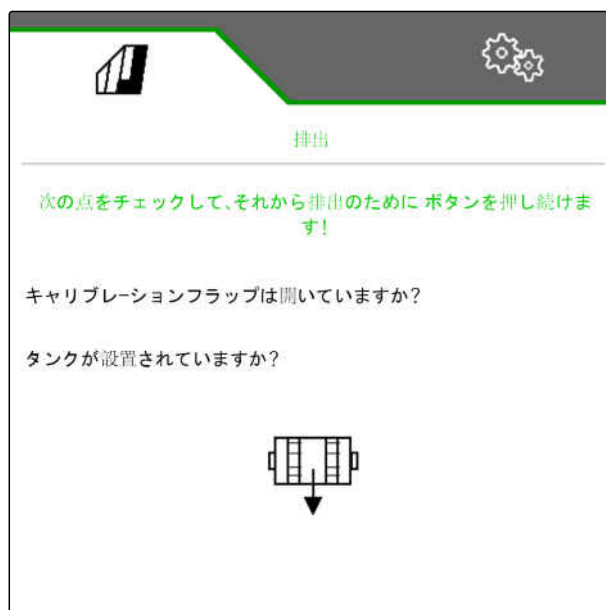
1. AmaPilot+ の固定割り当てはサポートされていないため、
操作端末で自由割り当てを選択します。
2. 希望する機能を押します。

肥料タンクを空にする

11

CMS-T-00000754-C.1

1. 圃場メニューで "空にする" を選択します。
2. ディスプレイに表示されたポイントを点検します。
3. 表示されたポイントが満たされている場合、
 を押し続けます。



CMS-I-00000728

作業の記録

12

CMS-T-00000929-D.1

12.1 ドキュメントの呼び出し

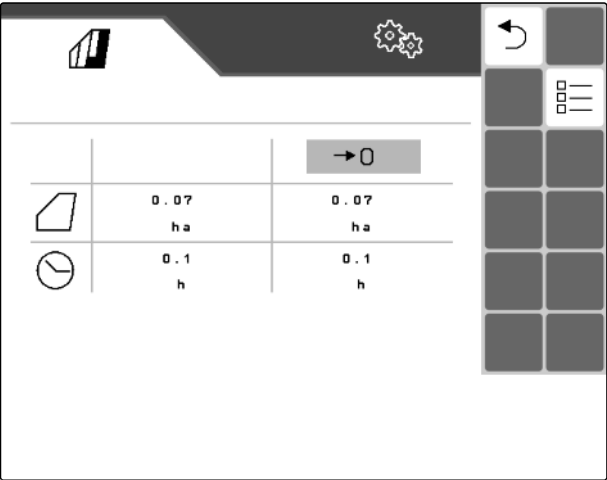
CMS-T-00000930-D.1

- ▶ 圃場メニューで "ドキュメント" を選択します。
- ➔ 選択したドキュメントの値を含む表が、メニューに表示されます。左の列は合計値を示し、右の列は一日の値を示します。

注記

作業済みエリアの計算は、機械の総作業幅を用いて行われます。OFF にされた列は考慮されません。

播種面積の計算は、機械の実際の作業幅を用いて行われます。トラムラインは、播種面積にカウントされません。OFF にされた列は、播種面積にカウントされません。



CMS-I-00000714

記号	意味
	作業済みエリア
	播種面積
	作業時間
	散布された種子量
	散布された肥料の量
	散布された微粒剤の量

12.2 デイカウンタをゼロにする

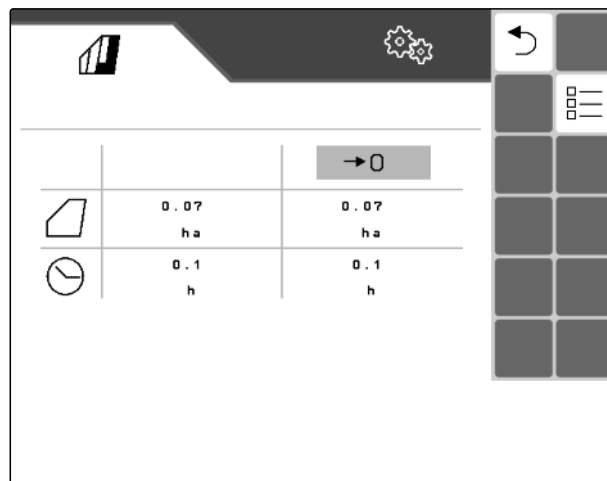
CMS-T-00000757-B.1

別の圃場で作業する場合は、ドキュメントのデイカウンタを 0 にセットできます。

i 注記

選択したドキュメントの合計値は保持されます。

1. 圃場メニューで "ドキュメント" を選択します。
2. →0 を選択します。



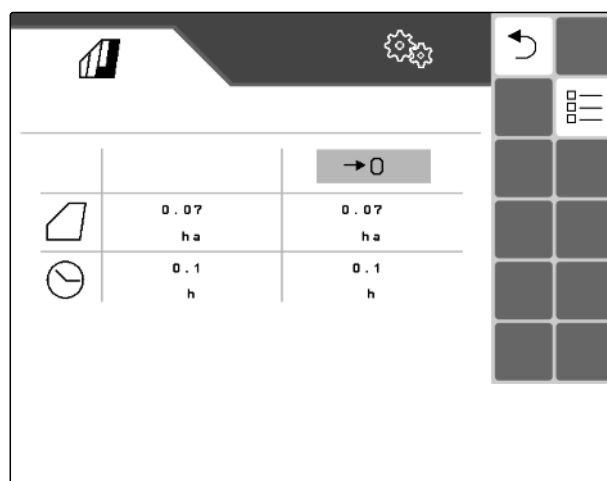
CMS-I-00000714

12.3 ドキュメントの管理

CMS-T-00000931-B.1

選択したドキュメントの値が、概要に表示されます。
機械で作業が行われると、選択したドキュメントの値が更新されます。

1. 圃場メニューで "ドキュメント" を選択します。
2.  を選択します。



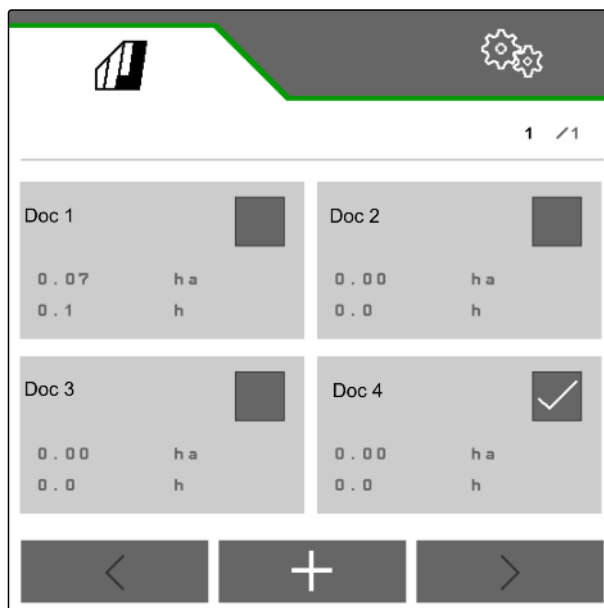
CMS-I-00000714

3. ドキュメントを選択や名前変更、削除するには、
希望するドキュメントをリストから選択します。

または

新しいドキュメントを作成するには、

+を選択します。



CMS-I-00000718

ソフトウェア情報の呼び出し

13

CMS-T-00008330-A.1

次の情報を呼び出せます：

- AEF 認証
 - ソフトウェア・バージョン
 - 機械番号
1. "設定" メニューで "情報" を選択します。
 2. ボタンバーのボタンに番号を付ける場合は、
"ボタン番号の表示" を選択します。
 3. ソフトウェア情報を呼び出すには、
"ソフトウェア"を選択します。

カウンタの値の呼び出し

14

CMS-T-00008331-A.1

次の情報を呼び出せます：

- 総面積
 - 播種面積
 - 総時間
 - 総量：
 - 種子
 - 肥料
1. "設定"メニューで "情報" を選択します。
 2. ボタンバーのボタンに番号を付ける場合は、
"ボタン番号の表示" を選択します。
 3. 機械のカウンタの値を呼び出すには、
"カウンタの値"を選択します。

診断データの呼び出し

15

CMS-T-00008332-A.1

中央の列には、スイッチ状態 **1** と回転数、電流消費、電圧消費がリストアップされます。

右側の列には、スイッチ操作 **2** がカウントされ、最大値がリストアップされます。

左側の列には、診断できるコンポーネントがリストアップされます。

- 1. "設定" メニューで "情報" を選択します。
- 2. "診断" を選択します。
- 3. ベースコンピュータの診断を呼び出すには、"ベースコンピュータ" を選択します。
- 4. アクチュエータの診断を呼び出すには、アクチュエータ **3** を選択します。

または

センサーの診断を呼び出すには、
センサー **4** を選択します。

- 5. カウントされたスイッチ操作をリセットするには、
→0 を選択します。

PRE00000000			ベースコンピュータ		1 / 1	
ID	oder Name	Value	Counter Physical	Max. Value		
XA.S01	キャリブレーションキー			1	1	
XA.B50	作業位置	7.5 mA		7.6		
XA.B01	レーダー	0 Hz		1	2	
XA.B31	ファンセンサー	418 Hz		52819		
XA.B40	肥料 計量セル 左	5.7 mA		5.8		
XA.B41	肥料 計量セル 右	4.8 mA		4.9		
XA.B71	ファン圧力	6.5 mA		6.6		
			センサー	アクチュエータ		
			4	3		

CMS-I-00005678

中央の列には、スイッチ状態 **2** と回転数、電流消費、電圧消費がリストアップされます。

右側の列には、スイッチ操作 **1** がカウントされ、最大値がリストアップされます。

左側の列には、診断できるコンポーネントがリストアップされます。

6. "設定" メニューで "情報" を選択します。
7. "診断" を選択します。
8. 肥料タンクの診断を呼び出すには、
"肥料タンク" を選択します。
9. アクチュエータの診断を呼び出すには、
アクチュエータ **3** を選択します。

または

センサーの診断を呼び出すには、
センサー **4** を選択します。

10. カウントされたスイッチ操作をリセットするには、
→0 を選択します。

スイッチ状態とカウンタ値、汚れ具合、電流消費がリストアップされます。

11. "設定" メニューで "情報" を選択します。
12. "診断" を選択します。
13. コールタコンピュータの診断を呼び出すには、
"列" を選択します。
14. 希望する列を選択します。



注記

光電センサーの汚れが増すと、光バリアの強度が高まります。→0  で、光バリアの強度をリセットできます。

PRE00000000 肥料タンク 1 / 1			
ID	Order Name	Value	Counter Physical Value
XA.S01	キャリブレーションキー		1 1
XA.B31	ファンセンサー	475 Hz	57727 2
XA.B11	肥料充填レベル 左		0
XA.B10	肥料充填レベル 右		0
XA.B50	作業位置		0

センサー

4

アクチュエータ

3

CMS-I-00005679

列 1			
モーター			
回転数	0	1/min	
電流	0.0	A	
スクレーパー位置	2	%	
デフォルトキー	1		
現在のタンク 充填レベル	0		
光電センサー			
カウント済み種子	0	K	
汚染度	0	%	

CMS-I-00005684

機械の修理

16

CMS-T-00005759-B.1

16.1 エラー通知の処理

CMS-T-00007372-B.1

指示  または警告  の後には、機械の作業結果が期待していたものとは異なる可能性があります。指示はゆっくりとしたビーブ音による音響警告信号で、警告は速いビーブ音による音響警告信号で通知されます。

アラーム  後には、機械が破損する恐れがあります。アラームは、継続的な音響警告信号で通知されます。

1. ディスプレイにエラー通知が表示された場合は、直ちに作業を中断します。
2. エラーコード  の解決策の提案を検出するには、"エラーの除去" を参照。



CMS-I-00005170

16.2 エラーの除去

CMS-T-00007406-A.1

エラーコード	記号	エラー	原因	解決法
F45001		肥料計量装置の回転数が低すぎます。走行速度を上げます。	計量装置の回転速度を落とせず、撒布される肥料が多すぎます。	以下のページを参照 89
F45002		肥料計量装置の回転数が高すぎます。走行速度を落とします。	計量装置の回転速度を上げられず、散布される肥料が少なすぎます。	以下のページを参照 89
F45003		肥料計量の規定値を維持できません！	計量システム制御の変動が大きすぎます。	以下のページを参照 89
F45004		出力での過電流：肥料計量装置。アクチュエータとケーブルハーネスを点検してください！	肥料計量のドライブが、最大電流制限を超過しました。	以下のページを参照 89
F45005		次の列の光電センサーが汚れています：X	種子検出センサーが汚れています。これは誤カウントにつながる可能性があります。	▶ 取扱説明書に従ってセンサーを清掃する
F45006		計量モーターが反応しない	この列のモーターが回転しません。	以下のページを参照 90
F45009		微粒剤計量の規定値を維持できない	計量システム制御の変動が大きすぎます。	以下のページを参照 90
F45010		データは現在保存されていません。機械の再起動が必要です	機械との通信が中断しています。	▶ 機械を再起動する
F45011		次のソフトウェア・バージョンは互換性がありません：...	指定されたシステムのソフトウェア・バージョンが間違っています。	▶ 互換性があるソフトウェアバージョンへの、コンポーネントのアップデートが必要不可欠
F45012		肥料計量シャフトの破損を検出	肥料計量シャフトが故障しています。	▶ 肥料計量シャフトを修理する
F45013		外部操作が有効	操作はツインターミナルで切り替えます。	▶ 操作はツインターミナルで行います ▶ ツインターミナルでの操作を終了するには、  を押します
F45014		供給電圧が不足しています	機械の供給電圧が不足しました。	以下のページを参照 90
F45017		このアクションを実行するには、機械を停止しなければなりません	機械が走行している際は、希望するプロセスを実行できません。	▶ 機械を停止する ▶ 速度信号ソースの機能を点検する

エラーコード	記号	エラー	原因	解決法
F45020		肥料計量装置のモーターとの通信がない	モーターと機械の通信が不可能。	▶ 供給電圧を点検する ▶ ケーブルハーネスを点検する
F45021		種子充填レベルが低すぎる	タンク内にローレベルセンサーを備えている列が、種子を検出しません。	▶ タンクに種子を補充する ▶ 細かい種子の場合、メッセージを無効にできます
F45023		端末は、機械が使用できる数より少ない規定量しか処理できません。機械のISOBUS設定を調整します	端末のタスクコントローラは、機械が提供する数より少ない規定量しかサポートしません。	▶ 一定の規定量のみを端末に割り当てて、それ以外の規定量は静的規定量として使用しなければなりません ▶ より多くの規定量を制御できる端末の使用
F45024		次の列の種子ラインが詰まっています：X	分離工程の種子検出センサーが詰まりを検出しました。	▶ コールタの詰まりを取り除く ▶ 機械を再起動する
F45032		センサーエラー：作業位置。センサーとケーブルハーネスを点検してください！	作業位置センサーからの有効な信号が見つかりません。	以下のページを参照 90
F45034		ファンの規定回転数を維持できません。	ファンは、設定された許容範囲外で稼働しています。	以下のページを参照 91
F45042		センサーエラー：キャリブレーションキー。センサーとケーブルハーネスを点検してください。	キャリブレーションキーのセンサー入力に有効な信号が見つかりません。	▶ キャリブレーションキーを点検する ▶ ケーブルハーネスを点検する
F45046		セクションコントロールを有効にできません！次の条件を満たしていなければなりません：1. 端末（タスクコントローラ）のセクションコントロールが有効 2. 機械に問題がない	ユーザーがセクションコントロールを有効にしようとしています。前提条件のいずれかが満たされていません。	▶ 問題なく機能している機械でセクションコントロールを有効にするには、端末（タスクコントローラ）のセクションコントロールを有効にする

エラーコード	記号	エラー	原因	解決法
F45047		セクションコントロールが無効化されました！	セクションコントロールは、ユーザーによって操作端末で無効化されました。	▶ ユーザーは、機械の他の運転モードを選択する ▶ セクションコントロールが意図せずに無効化された場合、端末で原因（GPS 信号の不良など）を点検する
F45049		肥料充填レベルのアラーム限界値を下回っています！	ユーザーが設定したタンク内残留量に達しました。	▶ タンクを補充する
F45050		作業位置センサーのソースが故障！	作動位置センサーからの信号が測定範囲外です。	▶ 作業位置センサーを点検する ▶ ケーブルハーネスを点検する
F45051		次の列の内部光電センサーエラー：X	分離工程の種子検出センサーが正しくありません。	以下のページを参照 91
F45052		GPS 記録ができません！ 次の条件を満たしている必要があります：1. 機械が停止 2. ファンが OFF	挙げられた条件が満たされていないので、ユーザーは GPS 記録機能を有効にできません。	▶ 機能を有効にするには、機械を停止する ▶ ファンを無効にする
F45053		次の列の微粒剤計量装置が反応しません：X	この列のモーターが回転しません。	以下のページを参照 91
F45054		微粒剤計量装置の回転数が低すぎます、走行速度を上げます。	計量装置の回転速度を落とせず、撒布される肥料が多すぎます。	以下のページを参照 91
F45055		微粒剤計量装置の回転数が高すぎるので、走行速度を下げます。	計量装置の回転速度を上げられず、散布される微粒剤が少なすぎます。	以下のページを参照 92
F45056		播種できません！	表示されている播種条件が満たされていません。	▶ 計量を ON にする ▶ ファンを ON にする
F45057		最低ファン回転数を下回り、計量装置が停止！	ファン回転数が 200 1/min を下回っています。	以下のページを参照 92
F45058		走行速度用に選択したソースが利用できません。利用できるソースを選択します。	選択した速度信号ソースが、現在利用できなくなっています。	▶ 他の信号ソースを使用するには、"速度信号ソースの設定"を参照
F45059		現在の速度信号ソースがありません！ ソースが変更されます！	現在の速度信号ソースが、現在利用できなくなっています。	▶ 他の信号ソースを使用するには、"速度信号ソースの設定"を参照

エラーコード	記号	エラー	原因	解決法
F45060		0 を上回る速度信号を検出。シミュレートされた速度が無効になりました。	ユーザーは、シミュレートされた速度に切り替えました。機械の速度センサーが、速度を検出しました。これによって、シミュレートされた速度が無効になりました！	▶ センサー（機械）の不具合を解消する ▶ シミュレートされた速度で作業を続けたい場合は、不具合のあるセンサー（機械）をケーブルハーネスから取り外します。
F45061		微粒剤計量の規定値を維持できない	計量システム制御の変動が大きすぎます。	以下のページを参照 92
F45062		最小圧力を下回りました	分離工程の圧力が小さすぎます。	以下のページを参照 92
F45063		最大圧力を超過しました	分離工程の圧力が大きすぎます。	▶ ファン回転数を下げる ▶ 圧力センサーの機能を点検する
F45064		センサーエラー：ファン圧力。センサーとケーブルハーネスを点検してください	ファン圧力のセンサー入力で、有効な信号が見つかりません。	以下のページを参照 93
F45065		センサーエラー：ファン回転数。センサーとケーブルハーネスを点検してください	ファン回転数のセンサー入力で、有効な信号が見つかりません。	▶ センサーの機能を点検する ▶ ケーブルハーネスを点検する
F45066		最大ファン回転数を超過しました	許容ファン回転数が高すぎます。	▶ ファン回転数を下げる
F45067		次のスクレーパーは、位置に達していません：X	このスクレーパーは、規定位置に到達できません。	以下のページを参照 93
F45068		次のスクレーパーの角度センサーが故障しました：X	スクレーパーの角度センサーからの、有効な信号が見つかりません。	以下のページを参照 93
F45069		出力での過電流：微粒剤計量装置 アクチュエータとケーブルハーネスを点検してください！	微粒剤ブロードキャストのドライブが、最大電流制限を超過しました。	以下のページを参照 93
F45070		出力での過電流：種子モーター X アクチュエータとケーブルハーネスを点検してください！	分離工程のドライブが、最大電流制限を超過しました	以下のページを参照 94
F45071		次の列の分離工程が反応しません：X	この列のモーターが回転しない	以下のページを参照 94

エラーコード	記号	エラー	原因	解決法
F45072		次の列で製品フローが検出されません：X	分離工程の種子検出センサーが、種子を検出しません。	▶ 分離工程の詰まりを取り除く ▶ 分離工程の機能を点検する
F45073		微粒剤充填レベルのアラーム限界値を下回っています	ユーザーが設定したタンク内残留量に達しました。	▶ タンクを補充する
F45074		次の列で規定散布量を下回っています：X	種子検出センサーが、設定した規定量より少ない種子しか検出しません。	以下のページを参照 94
F45075		次の列で規定散布量を超えています：X	種子検出センサーが、設定した規定量よりも多くの種子を検出します。	以下のページを参照 95
F45076		分離工程の計量装置回転数が低すぎます、走行速度を上げます	モーターの最小回転数を下回ります	以下のページを参照 95
F45077		分離工程の計量装置回転数が高すぎます、走行速度を下げます	モーターの最大回転数を超過します	以下のページを参照 95
F45078		次のメンバーが欠けています：...	特別装備が設定されていますが、見つかりません。	以下のページを参照 95
F45079		次のオプションメンバーが欠けています：...	特別装備が設定されていますが、バスに見つかりません。	以下のページを参照 96
F45080		センサーエラー：展開・折り畳み監視 センサーとケーブルハーネスを点検する	展開・折り畳みが見つかりました	▶ センサーの機能を点検する ▶ ケーブルハーネスを点検する
F45081		センサーエラー：作業位置 センサーとケーブルハーネスを点検してください	作業位置センサーによって見つかりました。	▶ センサーの機能を点検する ▶ ケーブルハーネスを点検する
F45082		センサーエラー：フロントタンクのファン回転数 センサーとケーブルハーネスを点検してください	フロントタンクでファン回転数センサーからの有効な信号が見つかりません。	▶ センサーの機能を点検する ▶ ケーブルハーネスを点検する
F45083		フロントタンクの最低ファン回転数を下回り、計量装置が停止！	ファン回転数が 200 1/min を下回っています。	以下のページを参照 96
F45084		フロントタンクのファン規定回転数を維持できない	ファンは、設定された許容範囲外で稼働しています。	以下のページを参照 96

エラーコード	記号	エラー	原因	解決法
F45085		フロントタンクの最大ファン回転数を超過しました	許容ファン回転数が高すぎます。	▶ 回転数を下げる
F45086		フロントタンクの計量が空	計量装置の絶対的なローレベルセンサーが、種子を検出しません。	▶ タンクを補充する ▶ センサーの機能を点検する
F45087		過負荷による肥料計量装置のシャットダウン 計量装置を点検してください。	肥料計量装置のドライブが、最大電流制限を超過しました。	以下のページを参照 96
F45088		次の列での過負荷による微粒剤計量装置のシャットダウン：X 計量装置を点検してください。	微粒剤計量装置のドライブが、最大電流制限を超過しました。	以下のページを参照 97
F45089		次の列での過負荷による種子用モーターのシャットダウン：X モーターと分離工程を点検します。	分離工程のドライブが、最大電流制限を超過しました。	以下のページを参照 97
F45090		次のメンバーが追加されました：フロントタンク	フロントタンクは、自動的に検出されました。	▶ 他のアクションは必要なし
F45091		地面が固すぎます！コールドタにこれ以上力を加えられません！	希望する垂直力を付与できません：実際の力は、規定力よりも小さくなります。	以下のページを参照 97
F45092		地面が柔らかすぎます！コールドタに加える力を、これ以上弱くできません！	希望する垂直力を付与できません。実際の力は、規定力よりも大きくなります。	以下のページを参照 97
F45093		次のメンバーはもう存在しません：フロントタンク	フロントタンクは、もはやメンバーとして検出されません。	▶ ケーブルハーネスを点検する ▶ プラグ接続を点検する
F45094		列数が変更されました。機械を再起動する必要があります！	機械ジオメトリで列数が変更されました。	▶ 機械を再起動する
F45095		次の列の力センサーが故障：X センサーとケーブルハーネスを点検してください	垂直力のセンサー入力で、有効な信号が見つかりません。	▶ センサーの機能を点検する ▶ ケーブルハーネスを点検する
F45096		左側の計量セルが故障	左側計量セルのセンサー入力で、有効な信号が見つかりません。	▶ センサーの機能を点検する ▶ ケーブルハーネスを点検する

エラーコード	記号	エラー	原因	解決法
F45097		右側の計量セルが故障	右側計量セルのセンサー入力で、有効な信号が見つかりません。	▶ センサーの機能を点検する ▶ ケーブルハーネスを点検する

16.2.1 F45001: 肥料計量装置の回転数が低すぎます。走行速度を上げます。

CMS-T-00007231-A.1

計量装置の回転速度を落とせず、撒布される肥料が多すぎます。

1. 走行速度を上げる
2. 新規キャリブレーション
3. 散布量を調整する

16.2.2 F45002: 肥料計量装置の回転数が高すぎます。走行速度を落とします。

CMS-T-00007242-A.1

計量装置の回転速度を上げられず、散布される肥料が少なすぎます。

1. 走行速度を落とす
2. 新規キャリブレーション
3. 散布量を調整する

16.2.3 F45003: 肥料計量の規定値を維持できません！

CMS-T-00007243-A.1

計量システム制御の変動が大きすぎます。

1. 新規キャリブレーション
2. 散布量を点検する
3. 散布量を調整する
4. 計量がスムーズか点検する

16.2.4 F45004: 出力での過電流：肥料計量装置。アクチュエータとケーブルハーネスを点検してください！

CMS-T-00007244-A.1

肥料計量のドライブが、最大電流制限を超過しました。

1. 計量がスムーズか点検する
2. アイドリング状態でモーターを制御する
3. 診断で消費電流を点検する

16.2.5 F45006: 計量モーターが反応しない

CMS-T-00007246-A.1

この列のモーターが回転しません。

1. 計量がスムーズか点検する
2. アイドリング状態でモーターを制御する
3. 診断で消費電流を点検する

16.2.6 F45009: 微粒剤計量の規定値を維持できない

CMS-T-00007240-A.1

計量システム制御の変動が大きすぎます。

1. 新規キャリブレーション
2. 散布量を点検する
3. 散布量を調整する
4. 計量がスムーズか点検する

16.2.7 F45014: 供給電圧が不足しています

CMS-T-00007418-A.1

機械の供給電圧が不足しました。

1. バッテリー電圧を点検する
2. バッテリーを充電する
3. ケーブル接続を点検する

16.2.8 F45032: センサーエラー：作業位置。センサーとケーブルハーネスを点検してください！

CMS-T-00007238-A.1

作業位置センサーからの有効な信号が見つかりません。

1. センサーの位置と現在値を点検する
2. センサーの機能を点検する
3. ケーブルハーネスを点検する

16.2.9 F45034: ファンの規定回転数を維持できません。

CMS-T-00007239-A.1

ファンは、設定された許容範囲外で稼働しています。

1. 許容範囲を調整する
2. 回転数センサーを点検する
3. 油圧供給を点検する

16.2.10 F45051: 次の列の内部光電センサーエラー : X

CMS-T-00007252-A.1

分離工程の種子検出センサーが正しくありません。

1. プラグ接続を点検する
2. センサーの汚れ具合を点検する
3. センサーを点検する
4. 機械を再起動する

16.2.11 F45053: 次の列の微粒剤計量装置が反応しません : X

CMS-T-00007253-A.1

この列のモーターが回転しません。

1. 計量がスムーズか点検する
2. アイドリング状態でモーターを制御する
3. 診断で消費電流を点検する

16.2.12 F45054: 微粒剤計量装置の回転数が低すぎます、走行速度を上げます。

CMS-T-00007254-A.1

計量装置の回転速度を落とせず、撒布される肥料が多すぎます。

1. 走行速度を上げる
2. 新規キャリブレーション
3. 散布量を調整する

16.2.13 F45055: 微粒剤計量装置の回転数が高すぎるので、走行速度を下げます。

CMS-T-00007250-A.1

計量装置の回転速度を上げられず、散布される微粒剤が少なすぎます。

1. 走行速度を落とす
2. 新規キャリブレーション
3. 散布量を調整する

16.2.14 F45057: 最低ファン回転数を下回り、計量装置が停止！

CMS-T-00007257-A.1

ファン回転数が 200 1/min を下回っています。

1. ファン回転数を点検する
2. 診断メニューで回線数センサーを点検する
3. ケーブルハーネスを点検する

16.2.15 F45061: 微粒剤計量の規定値を維持できない

CMS-T-00007426-A.1

計量システム制御の変動が大きすぎます。

1. 新たにキャリブレーションする
2. 散布量を調整および点検する
3. 計量がスムーズか点検する

16.2.16 F45062: 最小圧力を下回りました

CMS-T-00007265-A.1

分離工程の圧力が小さすぎます。

1. ファン回転数を上げる
2. エアシステムと分離工程に漏れがないか点検する
3. 圧力センサーの機能を点検する

16.2.17 F45064: センサーエラー：ファン圧力。センサーとケーブルハーネスを点検してください

CMS-T-00007268-A.1

ファン圧力のセンサー入力で、有効な信号が見つかりません。

1. センサーが清潔か点検する
2. センサーの機能を点検する
3. ケーブルハーネスを点検する

16.2.18 F45067: 次のスクレーパーは、位置に達していません：X

CMS-T-00007422-A.1

このスクレーパーは、規定位置に到達できません。

1. スクレーパーの機能を点検する
2. スクレーパーがスムーズに動くか確認する
3. 種子による詰まりを取り除く
4. スクレーパーを手動で動かす

16.2.19 F45068: 次のスクレーパーの角度センサーが故障しました：X

CMS-T-00007417-A.1

スクレーパーの角度センサーからの、有効な信号が見つかりません。

1. スクレーパーの機能を点検する
2. ケーブルハーネスを点検する
3. スクレーパーを手動で動かす

16.2.20 F45069: 出力での過電流：微粒剤計量装置 アクチュエータとケーブルハーネスを点検してください！

CMS-T-00007261-A.1

微粒剤ブロードキャスターのドライブが、最大電流制限を超過しました。

1. 計量がスムーズか点検する
2. アイドリング状態でモーターを制御する
3. 診断で消費電流を点検する

16.2.21 F45070: 出力での過電流：種子モーター X アクチュエータとケーブルハーネスを点検してください！

CMS-T-00007420-A.1

分離工程のドライブが、最大電流制限を超過しました

1. 計量がスムーズか点検する
2. アイドリング状態でモーターを制御する
3. 診断で消費電流を点検する

16.2.22 F45071: 次の列の分離工程が反応しません：X

CMS-T-00007421-A.1

この列のモーターが回転しない

1. 計量装置がスムーズに動くか点検する
2. アイドリング状態でモーターを制御する
3. 診断で消費電流を点検する

16.2.23 F45074: 次の列で規定散布量を下回っています：X

CMS-T-00007264-A.1

種子検出センサーが、設定した規定量より少ない種子しか検出しません。

1. 分離工程の機能とスムーズに動くかを点検する
2. スクレーパー位置を点検する
3. タンク充填レベルを点検する
4. 分離工程の空気供給を点検する（カバー開）
5. アラームしきい値の設定を点検する
6. センサーの汚れ具合を点検する
7. 種子検出の感度設定を点検する

16.2.24 F45075: 次の列で規定散布量を超過しています : X

CMS-T-00007273-A.1

種子検出センサーが、設定した規定量よりも多くの種子を検出します。

1. 分離工程の機能を点検する
2. スクレーパー位置を点検する
3. ディスク選択を点検する
4. アラームしきい値の設定を点検する
5. 種子検出の感度設定を点検する

16.2.25 F45076: 分離工程の計量装置回転数が低すぎます、走行速度を上げます

CMS-T-00007412-A.1

モーターの最小回転数を下回ります

1. 走行速度を上げる
2. ディスク選択を点検する
3. 散布量を点検する

16.2.26 F45077: 分離工程の計量装置回転数が高すぎます、走行速度を下げます

CMS-T-00007419-A.1

モーターの最大回転数を超過します

1. 走行速度を落とす
2. ディスク選択を点検する
3. 散布量を点検する

16.2.27 F45078: 次のメンバーが欠けています : ...

CMS-T-00007266-A.1

特別装備が設定されていますが、見つかりません。

1. ケーブルハーネスとメンバー（コールタコンピュータなど）の取り付けを点検する
2. 列数の設定を点検する
3. 機械を再起動する

16.2.28 F45079: 次のオプションメンバーが欠けています : ...

CMS-T-00007272-A.1

特別装備が設定されていますが、バスに見つかりません。

1. ケーブルハーネスとメンバー（コールドコンピュータなど）の取り付けを点検する
2. 列数の設定を点検する
3. 機械を再起動する

16.2.29 F45083: フロントタンクの最低ファン回転数を下回り、計量装置が停止！

CMS-T-00007433-A.1

ファン回転数が 200 1/min を下回っています。

1. 回転数を点検する
2. 診断メニューでセンサーを点検する
3. ケーブルハーネスを点検する

16.2.30 F45084: フロントタンクのファン規定回転数を維持できない

CMS-T-00007431-A.1

ファンは、設定された許容範囲外で稼働しています。

1. 油圧系統を点検する
2. 回転数を調整する
3. 規定回転数を調節する
4. センサーの機能を点検する

16.2.31 F45087: 過負荷による肥料計量装置のシャットダウン 計量装置を点検してください。

CMS-T-00007445-A.1

肥料計量装置のドライブが、最大電流制限を超過しました。

1. 計量装置がスムーズに動くか点検する
2. アイドリング状態でモーターを制御する
3. 診断で消費電流を点検する

16.2.32 F45088: 次の列での過負荷による微粒剤計量装置のシャットダウン : X 計量装置を点検してください。

CMS-T-00007447-A.1

微粒剤計量装置のドライブが、最大電流制限を超過しました。

1. 計量装置がスムーズに動くか点検する
2. アイドリング状態でモーターを制御する
3. 診断で消費電流を点検する

16.2.33 F45089: 次の列での過負荷による種子用モーターのシャットダウン : X モーターと分離工程を点検します。

CMS-T-00007442-A.1

分離工程のドライブが、最大電流制限を超過しました。

1. 計量装置がスムーズに動くか点検する
2. アイドリング状態でモーターを制御する
3. 診断で消費電流を点検する

16.2.34 F45091: 地面が固すぎます！コールタにこれ以上力を加えられません！

CMS-T-00007440-A.1

希望する垂直力を付与できません：実際の力は、規定力よりも小さくなります。

1. 機械が持ち上げられていないか点検する
2. フレームバラストを有効にする
3. 走行速度を落とす
4. 規定力を下げる
5. 油圧出力（ファン回転数）の点検

16.2.35 F45092: 地面が柔らかすぎます！コールタに加える力を、これ以上弱くできません！

CMS-T-00007441-A.1

希望する垂直力を付与できません。実際の力は、規定力よりも大きくなります。

1. 機械の負荷を軽減する
2. 走行速度を落とす
3. 規定力を上げる

付録

17

CMS-T-00000924-B.1

17.1 関連文書

CMS-T-00000925-B.1

- 取扱説明書 Precea（プレセア）3000-A
- 取扱説明書 Precea（プレセア）3000/4500/6000
- 取扱説明書 Precea（プレセア）4500-2
- 取扱説明書 Precea（プレセア）6000-2

索引

18

18.1 用語集

CMS-T-00007107-A.1

A

AUX

AUX は"auxiliary"（補助装置）の略語であり、マルチファンクションハンドルのような補助入力装置を表します。

E

ECU

ECU とは、機械に組み込まれた機械コントローラを表します。操作端末により、機械コントローラにアクセスし、機械を操作できます。

EGNOS

欧州静止衛星航法補強サービス (European Geostationary Navigation Overlay Service)。衛星ナビゲーションを補正する欧州のシステム。

G

GPS ドリフト

GPS ドリフトとは、精度が低い補正ソースを使用する場合に発生する、GPS 信号の偏差を表します。GPS ドリフトは、操作端末の車両記号の位置が、車両の実際の位置と一致しなくなっていることから認識できます。

GLONASS

ロシアのグローバルなナビゲーション衛星システム

H

HDOP

水平精度劣化 (Horizontal Dilution of Precision) : 衛星から送信される水平位置データ (緯度と経度) の精度のための基準

M

MSAS

運輸多目的衛星用衛星航法補強システム。衛星ナビゲーションを補正するための日本のシステム。

R

RTK

衛星データ補正のための有料システム。

T

TASK.XML

TASK.XML は、ジョブについてのデータを含むファイルです。

ア

アプリケーションマップ

アプリケーションマップには、作業装置の要素制御を可能にするデータが含まれています。このデータには、散布量や耕深があります。

シ

シェープファイル

シェープファイルでは、データセットにジオメトリ情報と属性情報を保存します。ジオメトリ情報は境界ラインとして使用できるフォームを形成します。属性情報は、散布量を制御する場合などに、アプリケーションに必要になります。シェープファイルのフォーマットは「.shp」です。

フ

ファームウェア

装置に埋め込まれたコンピュータプログラム。

ボ

ボーレート

データ転送速度であり、ビット/秒で測定されます。

汎

汎用端末

汎用端末により、ECU のユーザーインターフェースを操作端末に表示できます。

補

補正ソース

補正ソースには、GPS 信号の改善と補正のための様々なシステムがあります。

設

設定値受信機

作業装置の制御可能なエレメントは、設定値受信機と呼ばれます。スプレーヤーの場合、制御可能なエレメントは散布圧力調整器になり、これで散布量を制御できます。

農

農場管理情報システム(Farm Management Information System)

農場管理情報システム (FMIS、Farm Management Information System) は、農場経営を管理するためのプログラムです。このプログラムにより、ジョブとマスタデータを管理できます。

18.2 インデックス

B		シ	
Bluetooth 機器 ペアリングする	29	シフトラムライン 使用する	65
G		ジ	
GPS 記録 使用する	69	ジオメトリを決定	25
有効にする	30	ス	
I		スイッチ OFF 時間	50
ISOBUS の設定	36	スイッチ ON 時間	50
ISOBUS 設定する	36	スクレーパーを手動で設定	66
速度信号の使用	24	スクロール	11
エ		スタートアップランプ 設定する	35
エラー		ステータスバー	7
エラー通知の処理	81	スマートコントロール 有効にする	30
除去する	82	セ	
オ		セクションコントロール スイッチ ON	59
オーバーラップを防ぐ	50	セットアップ	50
キ		ソ	
キー		ソフトキーの変更	38
概要	9	タ	
変更する	38	タスクコントローラ	74
キー割り当ての変更	38	デ	
キャリブレーション	52, 55	デイカウンタをゼロにする	74
コ		ト	
コールタの棒グラフ 表示	7, 8	トラックマーカー	9
コールタ圧 コールタ圧監視の設定	24	トラックマーカーの操作	67
調整	64	トラムラインカウンタ	9
読み取る	9	トラムライン カウンタの使用	64
コールタ 手動で切り替える	61	スイッチのミラーリング	66
コンフォート油圧系統の使用	67	スイッチの設定	14

マーキングの使用	65	事前計量する	67
ド		住	
ドキュメント		住所	
呼び出す	74	技術編集部	4
作成する	75		
フ		作	
ファン		作業の記録	74
圧力を読み取る	9	作業メニュー	
回転数を読み取る	9	概要	7
ファン回転数監視		使用する	59
セットアップ	19	作業位置	7
フレームバラストの変更	67	作業位置センサー	
		設定する、アナログ	21
		設定する、デジタル	20
ブ		作業灯	
ブームセクション自動制御		使用する	69
スイッチ ON	59		
セットアップ	50	分	
ブームセクション		分離ディスクの充填	68
手動で切り替える	61	分離工程の精度	
ブームセクション制御		自動	30
自動	59	設定する	25
手動	61	分離工程	
ボ		設定する	17, 66
ボタン		遅延の防止	68
概要	9	圃	
マ		圃場メニュー	6
マルチファンクションハンドル AmaPilot+		圃場メニューを開く	11
使用する	71	圃場境界線の記録	69
マルチファンクション表示		始	
概要	8	始動速度の補正	35
変更する	34, 39	微	
メ		微粒剤	
メインメニュー	6	セットアップ	49
ロ		事前計量する	67
ロック可能な列		補充する	63
決定する	28	微粒剤の量	7
事			
事前に割り当てられた油圧機能	9		

情		秤	
情報		秤	
カウンタの値	78	ゼロ点調整する	26
ソフトウェア情報	77	調整する	27
診断データ	79		
戻		種	
戻る	11	種子	
		セットアップ	41
		散布量の増加	60
播		種子検出	
播種シミュレーション	69	自動	30
		設定する	25
操		種子分離工程	
操作	11	設定する	66
散		種子量	7
散布			
シミュレートする	69	空	
開始する	59	空にする	73
散布量			
種子で変更	60	肥	
肥料で変更	60	肥料	
散布量のキャリブレーション		セットアップ	48
ISOBUS 端末またはキャリブレーションボ		タンクを空にする	73
タンで	52	散布量の増加	60
ツインターミナルで	55	事前計量する	67
		補充する	63
機		肥料の量	7
機械サイドアームの伸縮	67		
機械データ	7	補	
機械の設定		補充	63
コールド圧監視の設定	24		
秤のゼロ点調整	26	製	
秤の調整	27	製品の設定	41
機能概要	5		
水		計	
水たまり	31	計量	
水たまり機能	70	シミュレートする	69
		開始する	59
		設定する	17
油			
油圧機能の事前選択	67	設	
		設定	6
		設定を開く	11

速

速度信号のセットアップ 22

連

連絡先
技術編集部 4

遅

遅延時間 50



AMAZONE

AMAZONEN-WERKE

H. DREYER SE & Co. KG

Postfach 51

49202 Hasbergen-Gaste

Germany

+49 (0) 5405 501-0

amazone@amazone.de

www.amazone.de